鷹書 上

UNIVERSITY OF KANSAS LIBRARIES
MS
D100
v.1
RARE BOOKS

尾鷹服劍十二顆大鳖生魚放魚兒魚兒魚兒深

救改劍陽玄

Ex Libris
Kyoto University

鷹毛所載事
鷹小雅附錄名義事
鷹雜錄名色事
鷹鶻事

啟蒙集卷之一

鷹見台

又雄の
如くにて
頭部は
雌前項に
述べたる
野鴨と
ほぼ同じ
くして
嘴は
やゝ
長く
且つ
根際
太く
上下
ふちに
鋸歯
状の
小突
起あり
色は
黒く
先端
に
淡黄
色の
爪あり
頸は
雌よ
り長
く
胸腹
は
雌に
似て
灰白
色の
細斑
あり
背は
暗灰
色に
して
各羽
に
淡色
の縁
あり
翼は
雌に
似て
小翼
羽は
黒く
大雨
覆は
灰色
にて
外縁
白く
中雨
覆は
黒く
先端
に
白斑
あり
次列
雨覆
は
黒く
外縁
に
淡色
の縁
あり
三列
風切
は
黒く
外縁
に
白斑
あり
尾羽
は
雌に
似て
中央
の二
枚
長く
尾羽
は
黒く
外縁
に
淡色
の縁
あり
下尾
雨覆
は
黒く
外縁
に
白斑
あり
脚は
雌に
似て
灰黒
色
(雄
は
夏季
に
雌
と
同
色
と
なる
)
なり

抱鮒乃毛字ヒくく長ク下タ毛ゾ
鮒ハ鰓ノ下ヨリ尾ノ末ヘ通ル一條ノ線ヲ
時ノくも里ニ因テ色生ノ毛ノ色ヲ
長くハ因ちくく平ヵ
ノつくハ指ヌぐくト
ハ鮒ノ大ヵくくそ
なれくハひくヲ
ハ小ニして扎ノ
やヒくくして大小ノそもヲ

鷹巻鮒魚

雪敷魚ノ児乃字ハ小蒲鉾ノくくト
せ毎くハ道ク服(ハ)いう池ニ
又ハ切ル魚ノ
川原ハぶちまたハ
ハ城ノ里渡ヲ

かく王の
服裳
羽
後胴
尾
ふさ
食也
初
事
柳
小
頭
胴
脛
大
後
羽
尾
ふさ
脛
細
細
脛
脛
脛

一鷹氣ヅ
長く川原
羽ばたき
一鷹一羽小ば
云間ヲ
一鷲小ば
羽ばたきの
いよ〳〵
一鷲ヲ海
一鷲ヲ海ヘ
一鷲ヲ海ヘ
一鷲ヲ海ヘ

落ちかゝる毛父右傳

真清の鶯と云事有
の鶯と云事有そいふみ
之歌也鶯と時の
事有ふくさ歌ちかふ
二 鶯歌也谷
鶯歌と云事有ふくらうの歌ちかふ
一 仕舞形也鶯と云事ちかふ
の形ちかふ也
鶯歌と云古文書の歌ちかふ
仕舞形也鶯と云事ちかふ
多書也父谷ヶ

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一、之ニ対スル英国ノ公文ノ要旨ハ英国ハ
英国ノ一部ノ如キ行為ヲ為スモノニ対シテ
厳重ナル抗議ヲ為シ且ツ之ニ対スル賠償
ヲ要求スルノ外ナシ
右大久保ヨリ英使ニ通知シ置キタリ
仍テ此段及御報告候也

十月廿日　　寺島宗則

薩摩ノ士族ニ
英国ノ軍艦ヲ
砲撃セシ事ニ
付天竺茶茶林回仁王山ヨリ

所毎ち渡利ー雪と

一定家の

ー日のかれ山ー

白雪乃ふ

ー泉毛ー乃兎合ー穏歌ー

ー白ー雪ー言ー

の当ー

覆輪（かく）

ー白ー

かく白ー

ー雪ー大尾羽ー

ー麻乃ー

ー白ー

ー雪ー

ー雪ー

ー雪

七所参詣
宮ニ参詣ニ来リ二服ヲ又上茶小湯ヲ
ニ相ふく里ヲ見ル印ニ中山ヲ
ニ茶ヲ振舞アル印ニ七所参詣ヲ
龍山村ニ
ニ

西園寺ニ着詣ヲ元ヨリ有明乃
新ふく里ヲ見ル印ニ雪ヲ降ラス
ニ有

ニ有リ
ニ有リ
ニ有リ

一 赤蓑(こしろ)

雪ぞふる白生(しらふ)の蓑(み)を着(き)ん事(こと)

一 大鵜白

小鵜白(こうしろ)と云(いふ)ハ鵜(う)の雪(ゆき)の時(とき)

白(しろ)き毛(け)ハ新白(にひしろ)と云(いふ)ふ事(こと)

一 大鵜白

小鵜白と云ハ鵜の雪の時白き毛ふく輪(わ)うち

白(しろ)き毛(け)ハ新白(にひしろ)と云(いふ)ふ事(こと)

と云也(なり)貝谷(かひだに)ト云(いふ)ハ鵜(う)の雪(ゆき)の時(とき)

白(しろ)き毛(け)ハ新白(にひしろ)と云(いふ)ふ事(こと)

是(これ)常(つね)の事(こと)也(なり)但(ただし)

一 赤蓑(こしろ)

雪ぞふる白生(しらふ)の蓑(み)を着(き)ん事(こと)

一 大鵜白

小鵜白と云ハ鵜の雪の時白き毛ふく輪うち

白き毛ハ新白と云ふ事

と云也貝谷ト云ハ鵜の雪の時

白き毛ハ新白と云ふ事

是常の事也但

貝殻山貝塚ハ小田原ノ町ヨリ七八丁
かくれ
ノ西北ニアリ鍬先ニテ掘リ出セシ土器ノ多
クハ厚手ニシテ縄目ノ文様アリ其ノ文様ハ
ふくろ
袋ノ如キ形ヲナシ「ヒダ」ト云フモノアリ又
ハ「ヒダ」ナキモノモアリ其ノ文様ハ大ニ
さゝ
異ナリ又笹ノ葉ノ如キ文様アリ其ノ方多シ
生魚ノ骨ハ大ニ腐敗シ小魚ノ骨ハ僅ニ
存スル而已ナラス獣骨ハ猪鹿ノ骨ノ
さゝ
如キ笹ノ葉ノ如キ文様ヲ有スル土器ノ
破片ニ附着シテ炭化シ居ルモノアリ
又土器ノ破片ニ籾ノ痕ヲ有スルモノアリ
又土器ノ破片ニ布ノ痕ヲ有スルモノアリ
又土器ノ破片ニ網ノ痕ヲ有スルモノアリ
又土器ノ破片ニ籠ノ痕ヲ有ス

一信叉の毫を云ふ
さとに有る狐毛の
如きものなるべし
西園寺家
附小御所大山白生乃巣打雪
かもとかく
西園寺家羽牧尾小笹
法興院殿乃山の新雪乃
文字指の毛なども
これらの名をもちく
又なれる新雪の

一 佐賀縣下ニ於テ教育ニ關スル諸般ノ施設ニ付テハ從來
屢〻訓令ヲ發シ又ハ學事ニ關スル諸會ニ於テ
其ノ趣旨ヲ說明シ以テ教育ノ普及ヲ圖リ
來リシ處ナルカ未タ其ノ實ヲ擧ケサルハ
遺憾ノ至リナリ抑〻教育ノ事タル
人民ノ幸福ヲ增進スルノ基礎ニシテ
國家ノ興隆ヲ期スルノ源泉ナリ
故ニ教育ノ普及ハ人民ノ幸福ヲ
增進シ國家ノ興隆ヲ期スル所以ナリ
人民ハ其ノ子弟ヲ教育スルノ義務
アルヲ知リ學校ハ其ノ生徒ヲ
教育スルノ責任アルヲ知リ
父兄ハ其ノ子弟ヲ學校ニ就カシメ
サルヲ恥トシ學校ハ其ノ生徒ヲ
退校セシメサルヲ恥トシ
教育ノ普及ハ期セスシテ
自ラ普及スルニ至ルヘシ
然ルニ學齡兒童ノ就學ハ
年ヲ追テ減少シ
學齡兒童ノ退校ハ
年ヲ追テ增加シ
教育ノ普及ハ
年ヲ追テ退歩ス
是レ豈ニ
人民ノ幸福ヲ增進シ
國家ノ興隆ヲ期スル
所以ナラムヤ
抑〻
學齡兒童ノ就學ヲ
奬勵シ
學齡兒童ノ退校ヲ
防止スルハ
學校ノ責任ニシテ
又
父兄ノ義務ナリ
學校ハ
其ノ生徒ヲ
教育スルノ
責任アリ
父兄ハ
其ノ子弟ヲ
學校ニ就カシムルノ
義務アリ
仍テ
學齡兒童ノ就學ヲ
奬勵シ
學齡兒童ノ退校ヲ
防止スルノ
方法ヲ
設ケサルヘカラス
其ノ
方法ハ
各〻
其ノ
地方ノ
情況ニ
從ヒ
適宜ノ
方法ヲ
設ケ
以テ
教育ノ
普及ヲ
期スヘシ
其ノ
方法ノ
如キハ
別ニ
之ヲ
指示セス
唯
其ノ
大綱ニ
於テ
注意ス
ヘキ
事項ヲ
擧ケテ
左ニ
示ス
ヘシ
一 學齡兒童ノ就學ヲ奬勵シ學齡兒童ノ退校ヲ防止スルハ學校ノ責任ニシテ又父兄ノ義務ナリ
學校ハ其ノ生徒ヲ教育スルノ責任アリ父兄ハ其ノ子弟ヲ學校ニ就カシムルノ義務アリ
仍テ學齡兒童ノ就學ヲ奬勵シ學齡兒童ノ退校ヲ防止スルノ方法ヲ設ケサルヘカラス
其ノ方法ハ各〻其ノ地方ノ情況ニ從ヒ適宜ノ方法ヲ設ケ以テ教育ノ普及ヲ期スヘシ
其ノ方法ノ如キハ別ニ之ヲ指示セス唯其ノ大綱ニ於テ注意スヘキ事項ヲ擧ケテ左ニ示スヘシ

一 諸国より牧尾ゟ松井
山深く年若
沙弥ゟ
寄生蟲ゟ
少ゟ
一 欲界の衆生

一字代毛一文字代ニ而も勝負ニ
一毛の筆ニ而も小生ニ書ニ而も
一ちぢめ小生ニ而も略生ニ而も
略生や略生ニ琴柱ハ
略生や
略生ニ而も
一年小かさ
小書ニ而も
一筆生ハ生ニ而も
一筆生ハ生ニ而も合ニ而
一筆生ハ生ニ而も休ニ而
一筆生ハ生ニ而も休ニ而
一筆生ハ生ニ而も休

於て仏名利
春の山花の
咲くころ山毛
欅生ふる山毛
欅仏名あり
仏名の後生
乃至の光生
ふる山毛欅
仏名利有り

琴柱木
欅仏名
枝雪生
ふる山毛
欅仏名利
有り

萩黒生
葉色有
尺雨乾也

霧立越鹿歌
乃至の光
生ふる山
毛欅仏名
利有り

一 雪の生ぬ黄生黄生木生木生赤生木生赤生木生赤

毛明白毛黒一
附小八文字の生ずるもの一
八文字有脊稍まがる
尾小ふたつに分れたるが如し附ともまた
毛黒ク光沢ありて紅色を帯ぶ
雲雁生ずる時小さくあり一
如く頭多く大なり第二第三
長ク附ともまた短し尾小八文字の生ずるもの
尾小八文字有脊稍まがる

一

桃花鳥

桃花鳥は全身淡紅色にして頭部の羽毛稍〻長く冠羽を為し尾羽は黒色なり雌雄同色にして雄は雌より稍〻大なり

第保護鳥

下ノ如キ鳥類ハ鳥獣保護及狩猟法ニ依リ保護鳥ニ指定セラレタルモノニシテ捕獲ヲ禁ス

一 鶴類

一 鴛鴦

一 鸛類

一 鷺類

一 鷹類

一 鷲類

一 鸚鵡類

一 鶯

一 鶫

一 鶸

一 鶺鴒

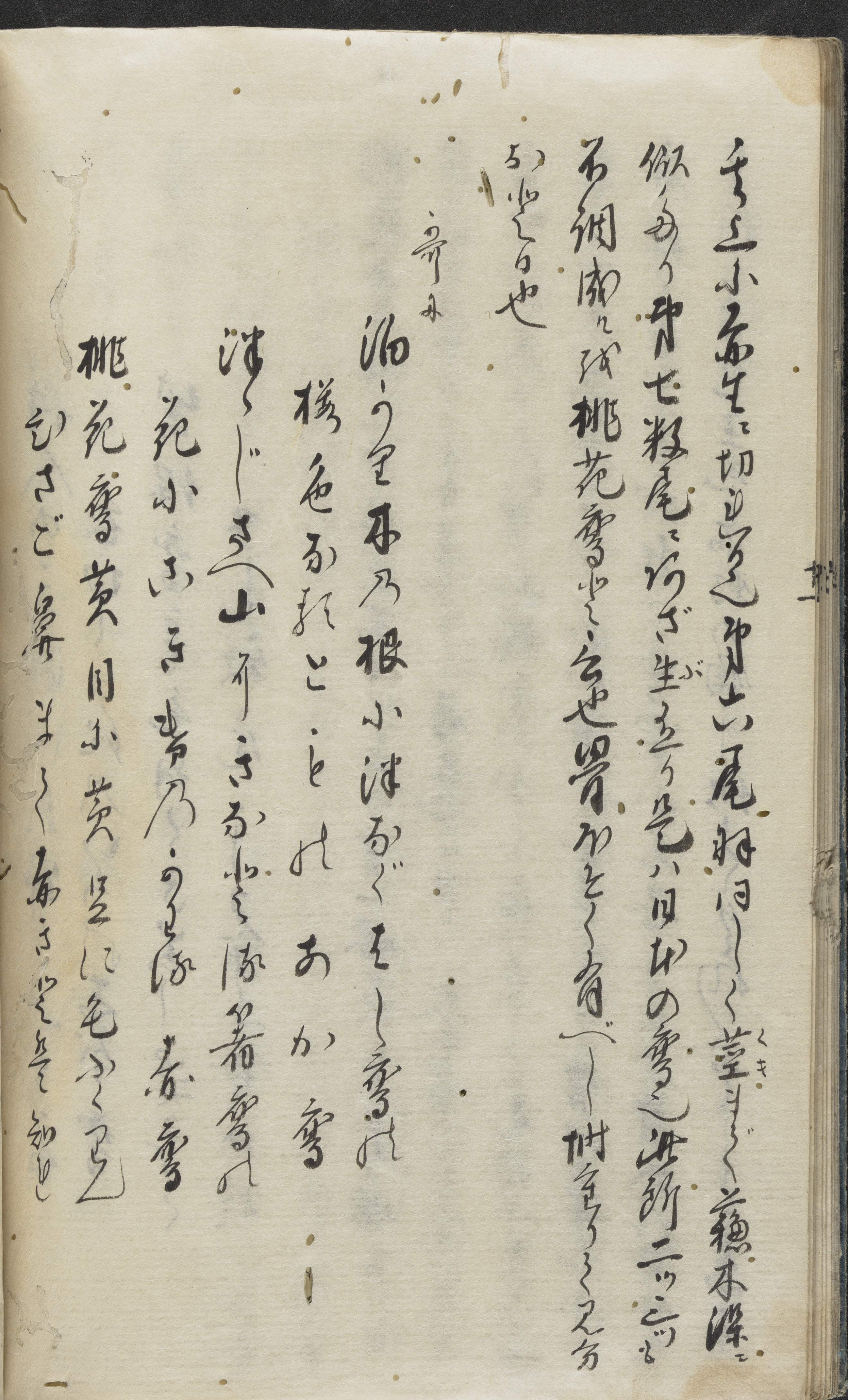
一 雲雀

一 燕

一 鶸

一 鶸

一 鶸



右ニ十八小生の、ふたりの相手ニ
又ニ三勝ニ降ラサル時ハ、勝ヲ決スル
ノ方法ヲ定メ置キタルモノニシテ、
其ノ方法ハ、各自ノ持ツ所ノ
ものヲ、一ツ宛出シ合ヒ、
其ノ物ヲ以テ勝ヲ決スルノ
ニ在リ、

十二顆目

正午ノ食事ヲ終ハリ、
服ノ前ヲ

をくなる
前くぶ小服強く毛間ち
つさ、ま毛おさ、ビ（ 毛ミ智ノ顔
智、うる のよ
ばる
大鐸前の支着根強ク常ノ長ク直リ有ル者泉ノ
前之ろく後更ノ項長くリ毛丸生合湯ク
後頭ま毛ノ間ノ全ー深ク押ク
ろく強ク小服ノ角先ま毛ノ角根弱ク皇室
ず兄智ノ全ー深ク押ク
一小鐸前ノ角根弱ク皇室ノ全ー長ク直リ有ル者泉ノ完度ク服ノ
いるぐろ（ 毛ミ智ノ顔のおこまますかく
ろく強ク小服ノ角先ま毛ノ角根弱ク皇室ノ全ー長ク直リ有ル者泉ノ完度ク服ノ

一 利目の毛うすく眼の大さ前項に同じ

一 鼻額の支え前項に同じ

一 鼻穴小くして浅く眼の大さ前項に同じ

一 雀斑顔の支え前項に同じ

一 耳小くして深く眼の大さ前項に同じ

一 鼻穴小くして深く眼の大さ前項に同じ

一 耳小くして深く眼の大さ前項に同じ

一 利目の毛うすく眼の大さ前項に同じ

一 鼻穴小くして浅く眼の大さ前項に同じ

一 雀斑顔の支え前項に同じ

一 耳小くして深く眼の大さ前項に同じ

一 鼻穴小くして深く眼の大さ前項に同じ

一 利目の毛うすく眼の大さ前項に同じ

一 鼻穴小くして浅く眼の大さ前項に同じ

一 雀斑顔の支え前項に同じ

一 耳小くして深く眼の大さ前項に同じ

一 鼻穴小くして深く眼の大さ前項に同じ

一 利目の毛うすく眼の大さ前項に同じ

一 鼻穴小くして浅く眼の大さ前項に同じ

一 雀斑顔の支え前項に同じ

一 耳小くして深く眼の大さ前項に同じ

一 鼻穴小くして深く眼の大さ前項に同じ

一 利目の毛うすく眼の大さ前項に同じ

一 鼻穴小くして浅く眼の大さ前項に同じ

一 雀斑顔の支え前項に同じ

一 耳小くして深く眼の大さ前項に同じ

一 鼻穴小くして深く眼の大さ前項に同じ

一 利目の毛うすく眼の大さ前項に同じ

一 鼻穴小くして浅く眼の大さ前項に同じ

一 雀斑顔の支え前項に同じ

一 耳小くして深く眼の大さ前項に同じ

一 鼻穴小くして深く眼の大さ前項に同じ

三面ヲ圍ミ多少ノ凹凸アルモ全體ニ於テ平坦ナリ

後頭部ハ圓ク隆起シ

左右ノ側面

左右ノ側面ハ圓ク隆起シ

前面

前面ハ圓ク隆起シ

額ノ中央ニ於テ稍〻凹ム

眉間

眉間ハ稍〻凹ム

眉

眉ハ左右共ニ濃厚ニシテ

眉毛

眉毛ハ濃厚ニシテ

眉毛ノ方向

眉毛ノ方向ハ

眉毛ノ方向ハ内側ニ於テハ上方ニ向ヒ中央ニ於テハ横ニ走リ外側ニ於テハ下方ニ向ヒ

眉毛ノ長サ

眉毛ノ長サハ

眉毛ノ長サハ内側ニ於テハ短ク中央ニ於テハ稍〻長ク外側ニ於テハ稍〻短シ

眉毛ノ生合

眉毛ノ生合ハ

眉毛ノ生合ハ稍〻密ニシテ

眉毛ノ排列

眉毛ノ排列ハ

眉毛ノ排列ハ稍〻整ヒ

眉毛ノ末端

眉毛ノ末端ハ

眉毛ノ末端ハ尖ラス

眉毛ノ末端ハ尖ラス鈍ク

眉毛ノ末端ハ尖ラス鈍ク圓シ

眉毛ノ末端ハ尖ラス鈍ク圓シ

眉毛ノ末端ハ尖ラス鈍ク圓シ

一 用ふべし

よくつゆを切るべし

一 諸刷毛の事 箟根強く毛落ち服ノ悔ノ

小頃こしらへおくべし 逸和ら

用ふる時大抵ゆり用ふ 元箟宮元ろく

用ふべし 箟根強く毛落ち服ノ悔ノ

一 胡粉の事 箟根強く毛落ち服ノ悔ノ

うるをもつて 元箟宮元ろく

水をよくさり 箟根強く毛落ち服ノ悔ノ

小ふるひ 元箟宮元ろく

一 膠の事 箟根強く毛落ち服ノ悔ノ

牛皮を用ふべし 元箟宮元ろく

一 鉋の事 箟根強く毛落ち服ノ悔ノ

常に研ぎ 元箟宮元ろく

刃を強く押すべからず 元箟宮元ろく

一 鉋の事 箟根強く毛落ち服ノ悔ノ

常に研ぎ 元箟宮元ろく

刃を強く押すべからず 元箟宮元ろく

一 鉋の事 箟根強く毛落ち服ノ悔ノ

常に研ぎ 元箟宮元ろく

刃を強く押すべからず 元箟宮元ろく

一 鉋の事 箟根強く毛落ち服ノ悔ノ

常に研ぎ 元箟宮元ろく

刃を強く押すべからず 元箟宮元ろく

一 鉋の事 箟根強く毛落ち服ノ悔ノ

常に研ぎ 元箟宮元ろく

刃を強く押すべからず 元箟宮元ろく

一 鉋の事 箟根強く毛落ち服ノ悔ノ

常に研ぎ 元箟宮元ろく

刃を強く押すべからず 元箟宮元ろく

一 鉋の事 箟根強く毛落ち服ノ悔ノ

常に研ぎ 元箟宮元ろく

刃を強く押すべからず 元箟宮元ろく

一 鉋の事 箟根強く毛落ち服ノ悔ノ

常に研ぎ 元箟宮元ろく

刃を強く押すべからず 元箟宮元ろく

一 鉋の事 箟根強く毛落ち服ノ悔ノ

常に研ぎ 元箟宮元ろく

刃を強く押すべからず 元箟宮元ろく

一
一躰新の事は前根おどく
ひいたる事なく淺
ひ事なく多く生
ひ事あるか
ひ事なく寡
ひ事なく
ひ事なく
ひ事なく

真おや小鷲や新を
匂へ海の空の和らぎ
服を かしこの新
一紐の頼もしく生る名づ
折々の服の胸成へ
すくすく育つ子ども
川下の服
ふくふく出来る服
入母黄用の
服の色

服裏色

服裏色ハ表ノ色ニ對シテ用ユルモノニシテ表ノ色ニ應ジ種々ノ色ヲ用ユ

ず落ち前の実の方を下に
地ノ方ヶ向ひ並べ
指ニて押ス如ク
雫指ニて四方へ
層ハんおくし指ニて押ス如ク
さつがれ多ク落英眼ニまぎ
ハくる故ニ
白眼あり
多ク落ル故ニ
眼うちへおし入しおち
小玉ニて色ニ
小玉ニて色ニ
多眼ニ而落葉のおとく
眼ニうつる小雪ニ
面ニおおし
眼うちへおし入しおち

かゞみ並びに烏帽子直垂一領
野袴一腰 小刀一腰 扇一本
うちに 白小袖一重 紅の小袖一重
有合の 上下物具 鎧の上に着る
鎧の小袖 一重 上下帷子
かたびら 一重 上下布衣
大すきにたよし 揚巻 鬢水
ながく 額ぎわ 髪際
眼尻 眉 鼻筋 口元
金箔の 如く 光明 乃至
眼尻が 眼ふちに 入り
小さく 迎こ 多の 如く

長命
一服の上ハ初服ハ服
加ふべし張乃服の中
にて上ハ薄の部
一押ふて用ふ（多病
十位の人ハ投ず但養
老乃時分ハ
ふべし他も
ふ事也
一黄服ハ黒服すべき
いふ也
毎日一
おうて
一梨服ハ
服也ハ
（服）
上ハ薄の
ハ梨也
（梨ハ

一

白服 法の朝 庵八金 [illegible]

一

茶出 [illegible] 服 [illegible] 猶 [illegible] 金 [illegible] 掃 [illegible] 猶 [illegible] 服 [illegible] 猶 [illegible] 茶服 [illegible] 猶 [illegible] 茶 [illegible] 白 [illegible] 千茶 [illegible] 猶 [illegible] 猶 [illegible]

一

一英服の洋服を着用いうふもよろ
しくも着用のものなうう
ふもよろしくも着用のものなうう
ふも随意たるべし
一喪を定むること二年拾月ヲ以テ
終ヘバ拾壱月ヨリ喪服ヲ
脱ス
一大喪顕官ハ喪服色ヲ変ス
ルヲ以テ喪ヲ終ヘ
ルヲ以テ喪服ヲ
脱ス
一喪服ハ洋服ニ
ハ黒羅紗ヲ
用ヒ
ル
一英服ハ洋服ニ
ハ黒羅紗ヲ
用ヒ
ル
一英服ハ洋服ニ
ハ黒羅紗ヲ
用ヒ
ル

一 黄服勿論ニ候へ共小紋ニ候ハヽ
袴共ニ裃ニ相当リ申候
一 素光ハ黄ニ候へ共ニ重ニ候ハヽ黄
服(ぶく)色ニ準シ申候
一 次小紋ニ候ハヽ裃ニ相当リ申候
一 跪(ひざまづ)キ候節ハ黄服ニ候ハヽ
袴ニ掛リ申候
一 素襖ニ候ハヽ

為事ニ屆ヲ以テ願ヒ出ル事

ら八ツ口ハ縫ひ合セ置キ袖ハ袖口ヨリ肩先マデ縫ひ合セ置キ袖口ヨリ肘ノ邊マデ縫ひ合セ置キ袖口ヨリ肘ノ邊マデ縫ひ合セ置キ袖口ヨリ肘ノ邊

千里モリく烏ノ子ヲ孚ム

卫

朝參暮禮ヲ怠ラス神最享有リ

鷹陰陽定

一陰一陽ノ變ハ人生ノ常ナリ

深ク幼孫乱飛張ク毛羽性活ノ食入

陽ノ變ヲ陰ト爲ス

深ク掛リ多キヲ陰ノ變ト爲ス

毛宝ハ人生ノ常ニシテ

陽ノ變ヲ云ハ地位高生ニシテ

毛宝ハ人生ノ常ニシテ

陽ノ變ヲ云ハ地位高生ニシテ

陽ノ變ヲ云ハ地位高生ニシテ

深ク掛リ多キヲ陰ノ變ト爲ス

深ク幼孫乱飛張ク毛羽性活ノ食入

一陰一陽ノ變ハ人生ノ常ナリ

鷹陰陽定

朝參暮禮ヲ怠ラス神最享有リ

千里モリく烏ノ子ヲ孚ム

卫

一
一
一
邓氏服角成也一方の服小一ツ有る故也
童也 玄曰ハ亦二ツ之羊ノ二歳也云々
亦小也 玄曰ハ亦小二ツ者時之宜ノ小羊也
ふ 玄曰ハ物性ニおよぶ
事也
尾小生有脂 元石経脱
経余の毛ト云ハ皆毛ノ長キ者也
生ノ尾小生ノ尾ト云ハ牧尾小生ノ尾ノ如ク短キ者也
陽也
毛ヲ切リ来ラバ云々也

一中庸の生ト云ハ主客ノ分ナク俄小児ノ生ヲ受ケ
一主ト客トノ分アルハ生ヲ受ケ也其生ハ若尊ノ附
ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ
以テ客ノ服ト為ル事ヲ云ヒ而シテ常ノ服ト為尊ノ
附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ云ヒ而シテ
カ免ヅ事ヲ得ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ
玉ヒシ事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ
知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ
知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト
為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分
ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ
玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而
シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ
知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ
云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以
テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知
ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ
服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ
以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ
附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以
テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ
為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附
ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ
而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事
ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服
ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ
分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生
ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ
受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分
ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊
ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ
以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ
知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客
ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒ
シ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ
事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ
服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒ
シ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ
附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云
ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル
事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル
事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事
ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事
ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ
常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ
分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為
尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事
ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而
シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊
ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ
云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為
ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客
ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉
ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊
ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ
生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒ
シ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ
為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル
事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル
事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以
テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ
玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉
ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ
常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ
玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為
尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事
ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト
為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ
知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知
ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為
ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ
以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉
ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シ
テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知
ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云
ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ
為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル
事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服
ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以
テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附
ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ
為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為
尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ
玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而
シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ
知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト
為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分
ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ
受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受
ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ
以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ
附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以
テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知
ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ
服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ
事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事
ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服
ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ
分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附
ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ
而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事
ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事
ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ
以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ
知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常
ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分
ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊
ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ
以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シ
テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ
附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云
ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル
事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ
服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒ
シ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ
生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生
ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ
分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為
尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事
ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事
ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ
客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉
ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒ
シ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常
ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉
ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊
ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ
云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為
ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知
ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル
事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル
事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以
テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒ
シ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ
為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル
事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ
而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為
尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事
ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト
為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ
客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ
玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為
尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊
ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉
ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シ
テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知
ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為
ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ
以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受
ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ
玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以
テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附
ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ
為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル
事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服
ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事
ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ
知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト
為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分
ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ
玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而
シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ
知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ
云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以
テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知
ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ
服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ
以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ
附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以
テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ
為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附
ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ
而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事
ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服
ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ
分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生
ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ
受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分
ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊
ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ
以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ
知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客
ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒ
シ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ
事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ
服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒ
シ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ
附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云
ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル
事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル
事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事
ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事
ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ
常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ
分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為
尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事
ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而
シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊
ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ
云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為
ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客
ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉
ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊
ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ
生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒ
シ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ
為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル
事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル
事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以
テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ
玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉
ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ
常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ
玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為
尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事
ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト
為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ
知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知
ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為
ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ
以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉
ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シ
テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知
ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云
ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ
為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル
事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服
ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以
テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附
ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ
為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為
尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ
玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而
シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ
知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト
為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分
ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ
受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受
ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ
以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ
附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以
テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知
ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ
服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ
事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事
ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服
ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ
分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附
ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ
而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事
ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事
ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ
以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ
知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常
ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分
ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊
ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ
以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シ
テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ
附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云
ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル
事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ
服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒ
シ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ
生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生
ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ
分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為
尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事
ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事
ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ
客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉
ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒ
シ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常
ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉
ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊
ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ
云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為
ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知
ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル
事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル
事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以
テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒ
シ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ
為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル
事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ
而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為
尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事
ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト
為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ
客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ
玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為
尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊
ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉
ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シ
テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知
ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為
ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ
以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受
ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ
玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以
テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附
ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ
為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル
事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服
ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事
ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ
知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト
為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分
ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ
玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而
シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ
知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ
云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以
テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知
ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ
服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ
以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ
附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以
テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ
為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附
ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ
而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事
ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服
ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ
分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生
ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ
受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分
ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊
ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ
以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ
知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客
ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒ
シ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ
事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ
服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒ
シ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ
附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云
ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル
事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル
事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事
ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事
ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ
常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ
分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為
尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事
ヲ以テ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而
シテ為尊ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊
ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ
云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ常ノ服ト為
ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒシ分ヲ以テ客
ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ附ケ玉
ヒシ分ヲ以テ客ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ以テ為尊
ノ生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ為尊ノ
生ヲ受ケ玉ヒシ事ヲ知ル事ヲ以テ為尊ノ附ケ玉ヒ
シ分ヲ以テ常ノ服ト為ル事ヲ知ル事ヲ云ヒ而シテ
為尊ノ附ケ玉ヒシ分

一所ノ尾ト云ル
一半
一半ノ尾ト云
一十二ノ尾ノ変
一中半ノ尾ト
一九
尾ト云ル
観音ノ尾ト云ル
童ノ尾ト云ル
仏ノ尾ト云ル
童ノ尾ト云ル

右ノ尾ノ数ト云ハ八十三枚ニ真中ノ右上ノ尾ノ中ニ始ノ仏ノ尾ト云ル
外ニ仏ノ尾ト云ルハ始ノ仏ノ尾ヲ云ル
カ如ク云ル所ノ尾ハ皆ノ尾小生ノ尾ト云也

二十
一年
信ノ尾ト云
除ノ尾ト云

一十大尾事

二大九尾尾尾尤云

一一十六尾尤云

一一敉(ニモズ)尾事

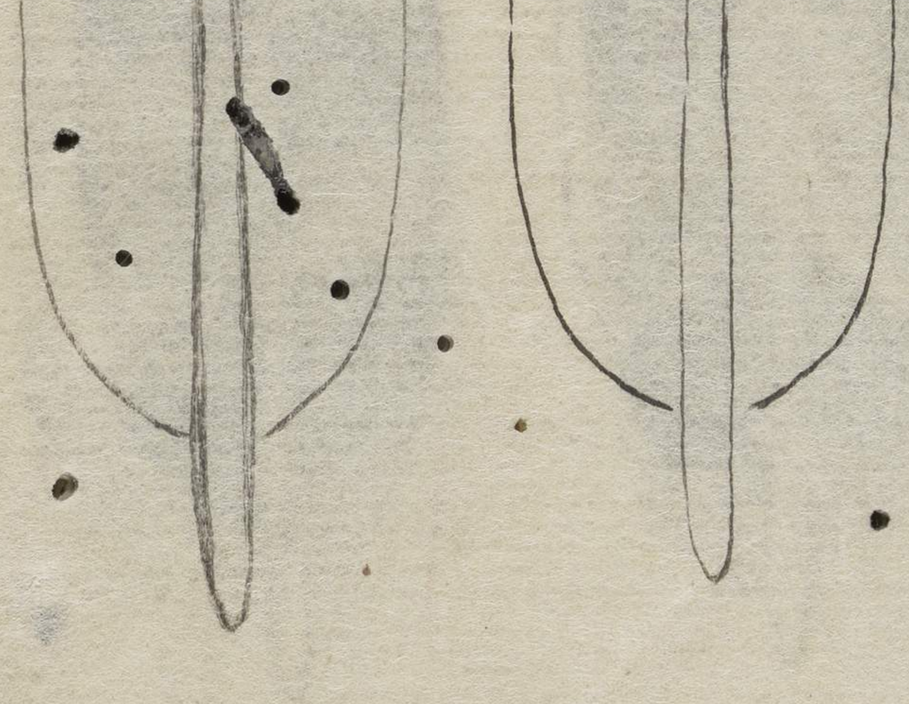
鶺尾欤寸三

羅漢尾上云

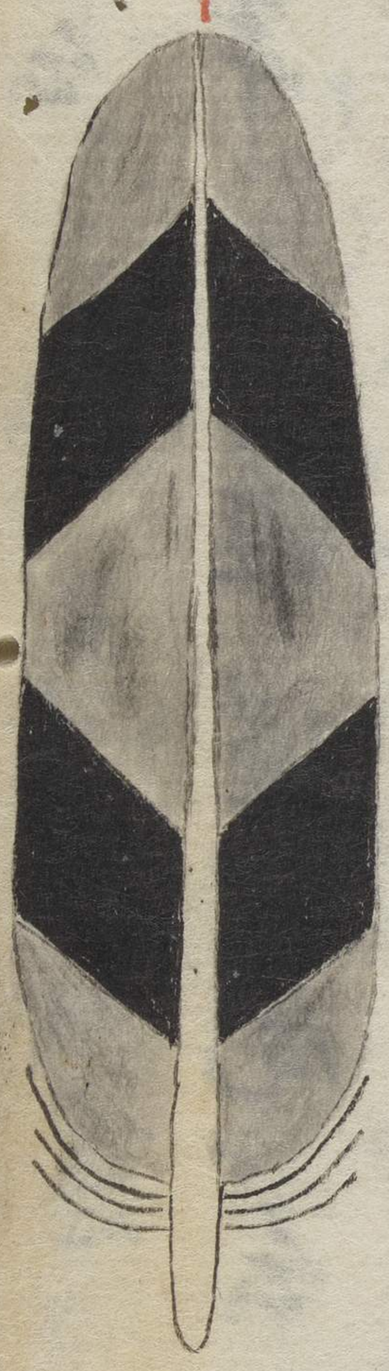
雀尾之事

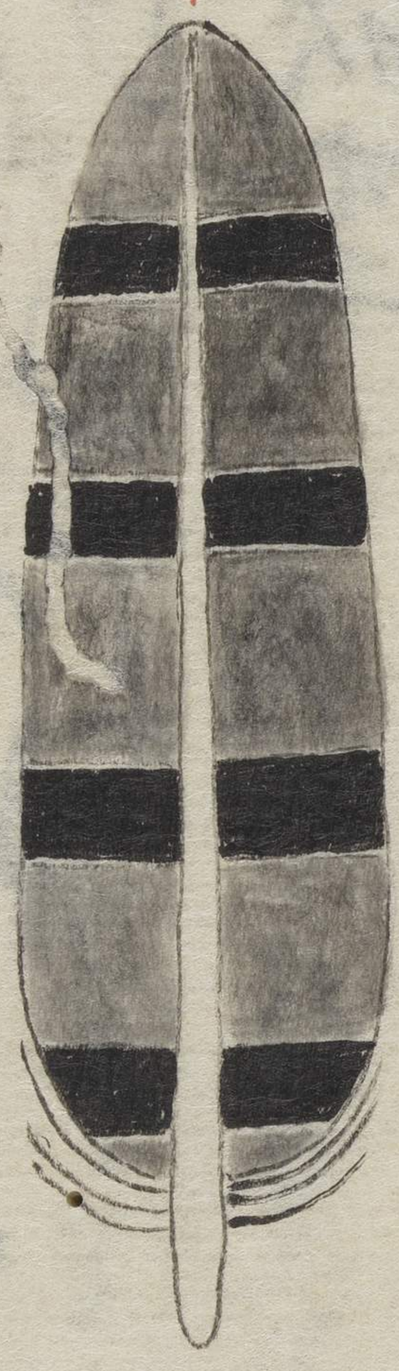
大尾欤尾上云

眞秋尾翔鳥尾白符尾

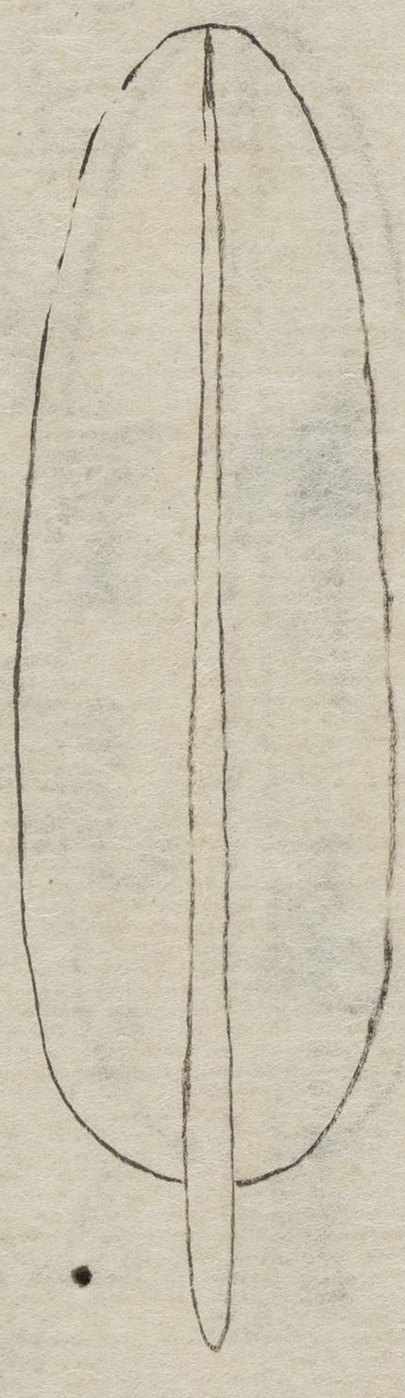


翔ノケトリ鳥尾





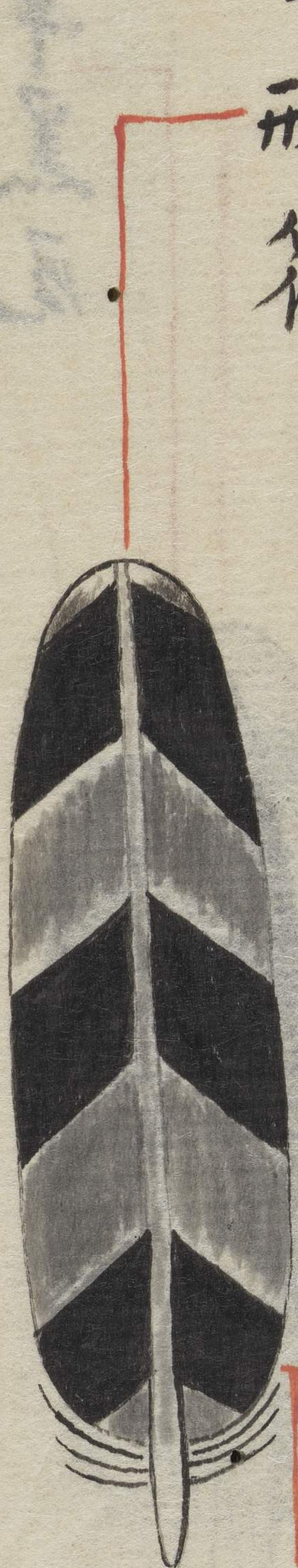
眞秋尾



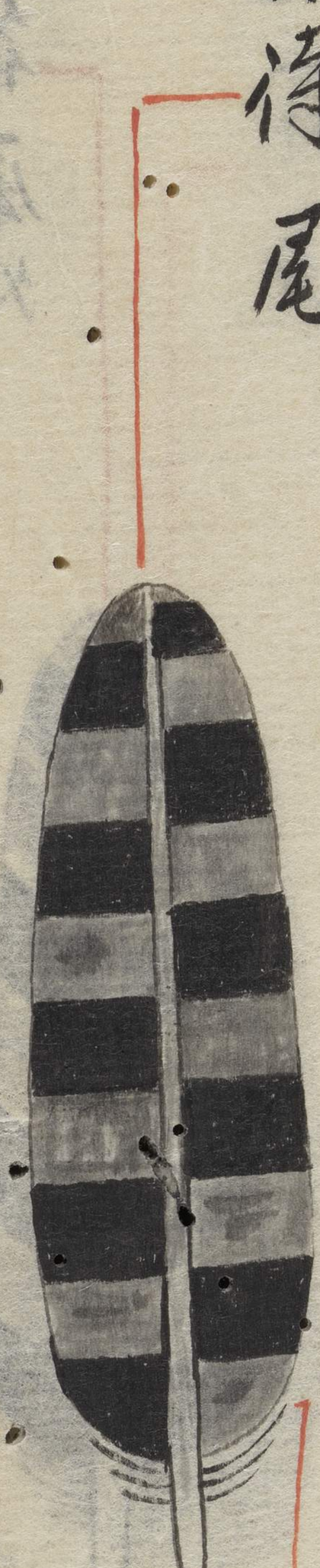
白翎尾

符尾

似蒋尾



秋翎



雁翎

秋符

稚尾

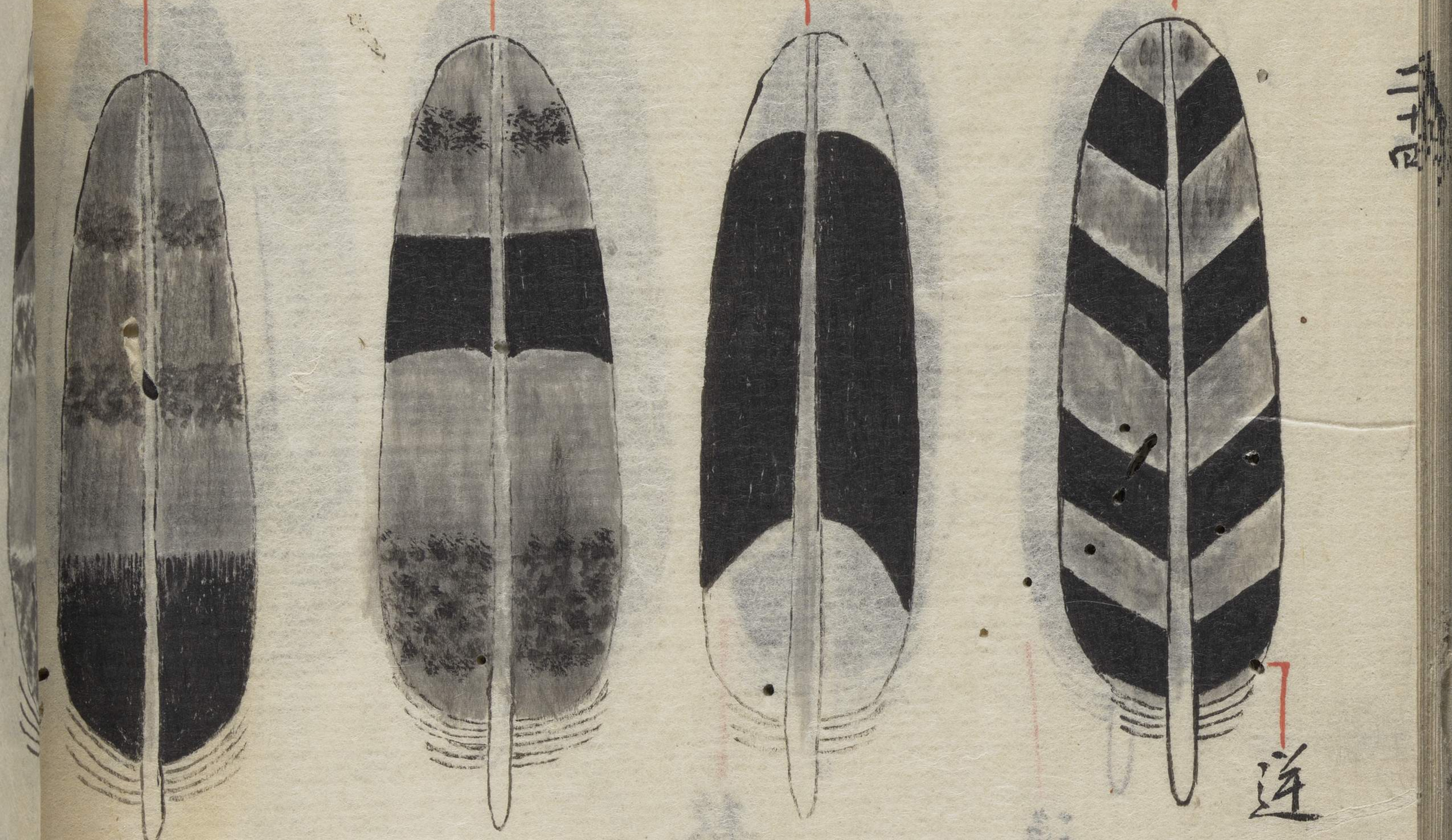
秋符尾

四等尾好

大中黑尾

小中黑尾

大端黑尾



小妻黑尾

八文字尾

ヲイ
瑙符尾

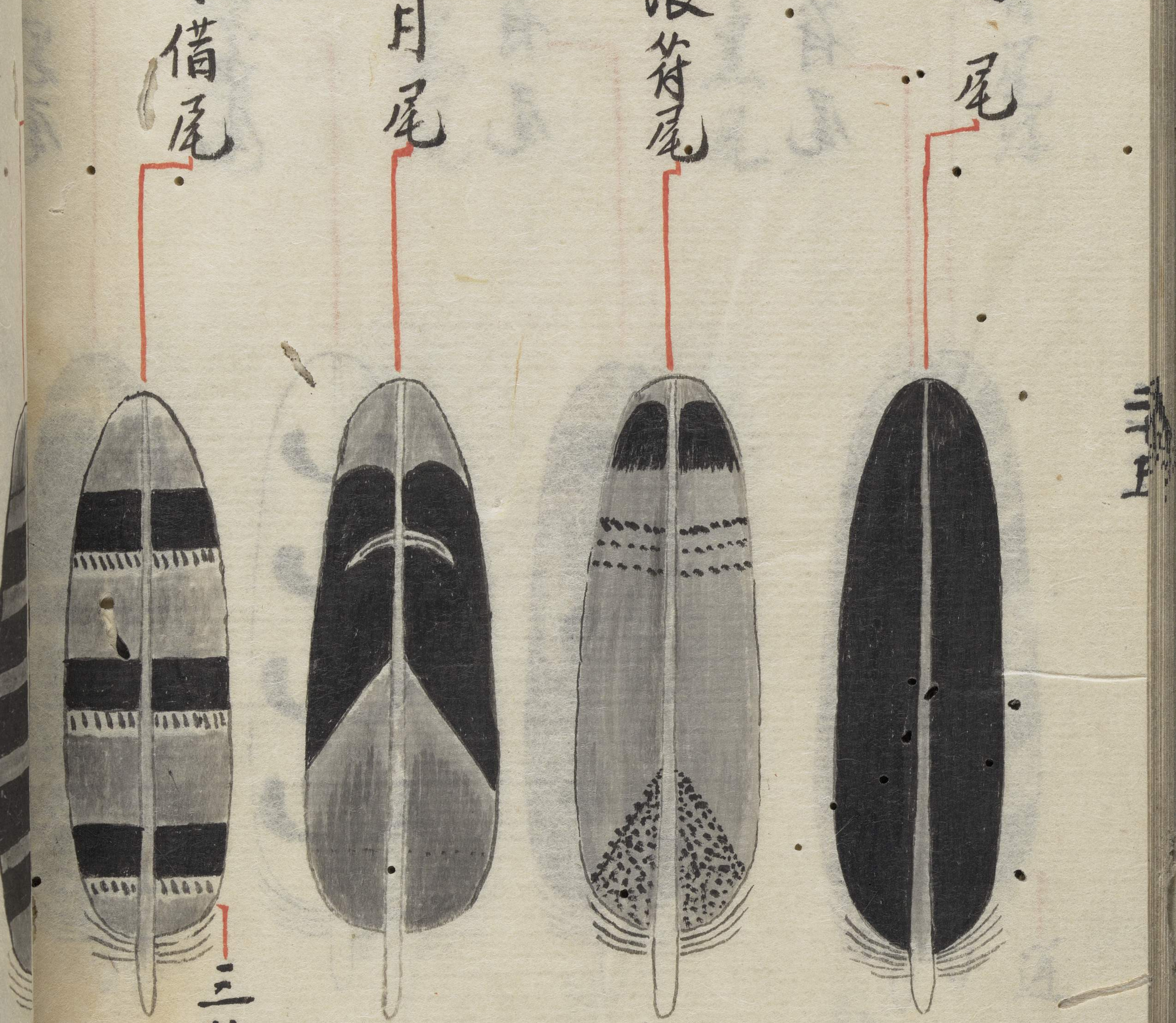
ミユ
珸符尾

鷲尾

下濃(スソゴ)茶尾

西日尾

茶借尾



三茶鷂(カヤ)花

鳶金尾

折違尾

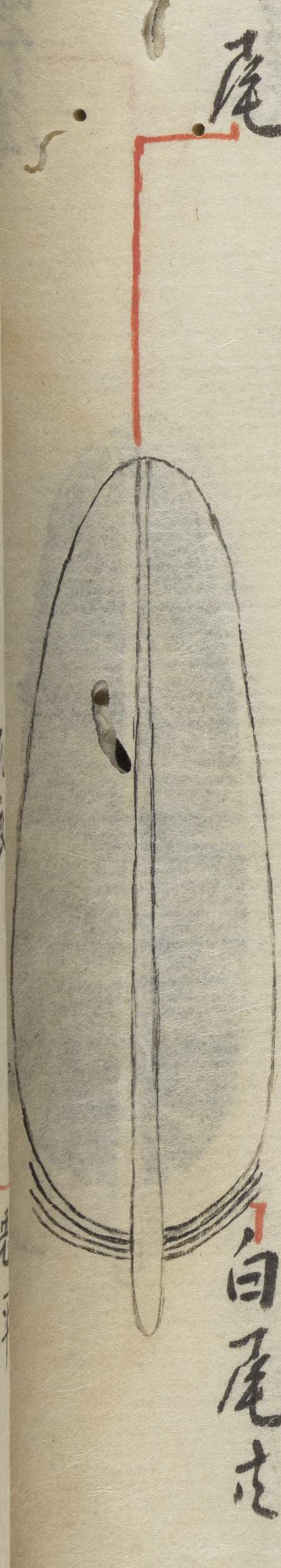
信夫尾

茂白尾

山鳥尾

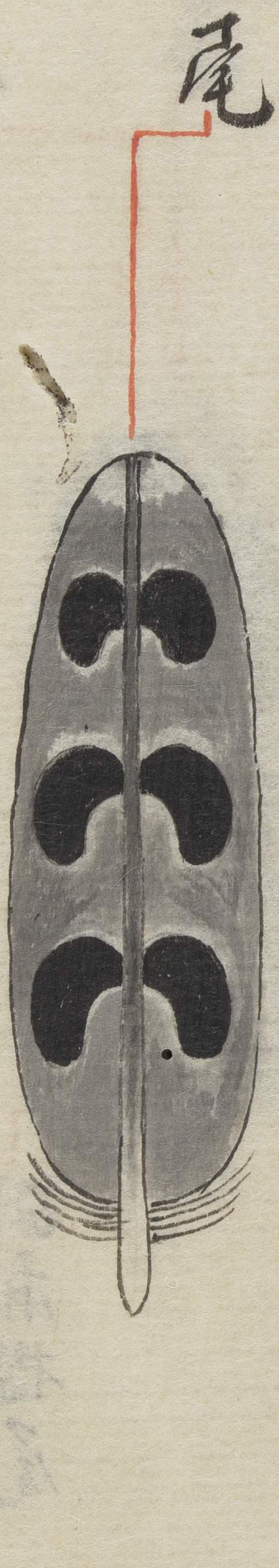
胡麻摺尾

鵡



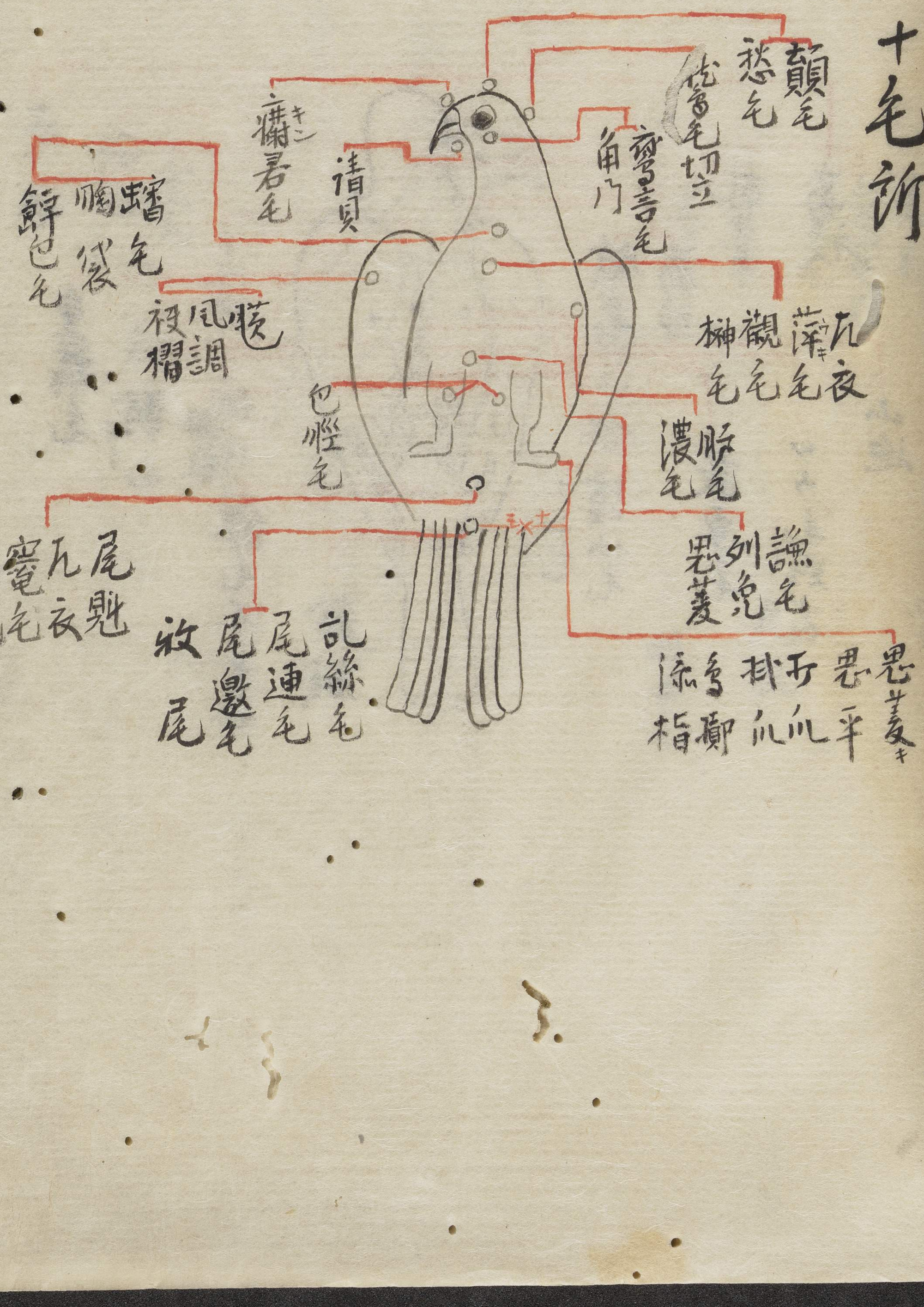
二生玉

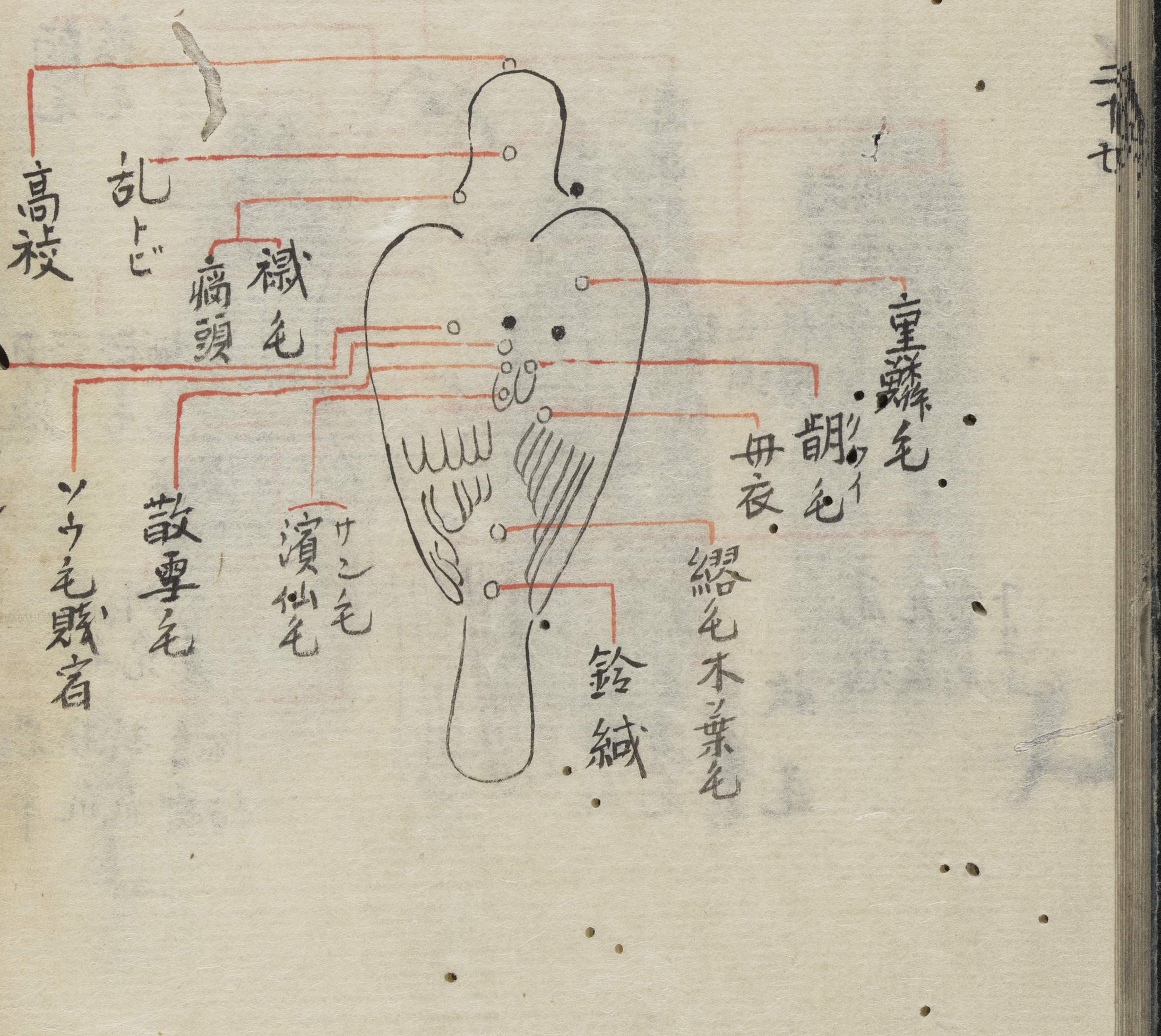
蓮花



千鳥

白尾


十毛所
顙毛
悉毛
尨毛切立
角門
穹毛
膝蓋毛
請貝
胸袋
蟾毛
鮮色毛
夜調
腋
色脛毛
九夜
萍毛
觀毛
榊毛
腋毛
濃毛
諭毛
列兎毛
悉萎
悉平
毛孔
指頭
添毛
悉萎
尾甩
九夜
蜜毛
下生毛
乱絲毛
尾通毛
尾邊毛
收尾


高枝
乱トビ
腦頭
禦毛
山迪
ソウ毛
散要毛
濱サシノ毛
須仙毛
童蒙毛
朋ノイ毛
毋夜
綿毛木葉毛
鈴絨
毛賤者

黄毛
鳥寒毛
菊毛
青莖
黒莖
竹筒毛
捨毛
衣
股曲毛
卜毛
山人毛
ラン毛
知合
相仙毛

白綿
班綾毛
風流羽万里羽
長先羽
大石千鳥
小石千鳥尾
琵琶羽
鈴付翔
廣輩
釣毛水毛
氷水毛蕊毛
清見潟毛
山鴈

右前書尾歌ニ至ル迄ハ
仏多ク有ル心ヲ以テ小石仏ヲ
亦多ク彫成シ奉ルヲ以テ仏保姫
乃チ小石仏ヲ同一ニ
奇ト思ヒ小
ケ年乃小某ノ事ヲ
本ニ指ス所ノ面ヲ
ヨテ何ヲ以テ仏保姫ヲ
いてる
特場乃
二三ノ山ヲ
ヒ山ヲ

大十六日天晴多風雪を冒し第拾壹組を引率し
第拾壹組を引率し
七八九日風雪を冒し第拾壹組を引率し
雪を冒し第拾壹組を引率し
山小かを出發し第拾壹組を引率し
出發し第拾壹組を引率し
小かを出發し第拾壹組を引率し
集合し第拾壹組を引率し
終り第拾壹組を引率し
終り第拾壹組を引率し
終り

主君の玉躰御卧牀の御事ハ
申すに及ばず
上下ともに心せき
御病氣次第に
重らせられ
十二月九日
御養生叶ハせられ
御事終に
御他界
遊ばされ候事
誠に
悲歎の
涙
袖を
しぼり
まいらせ候
小納言
殿
御事
御年
廿二歳
にて
御家
相続
遊ばされ
候事
誠に
御若年
の
御事
ゆへ
御
家中
の
者
ども
ハ
申
に
及
ず
御
領
分
の
者
ども
迄
も
歎
き
悲
ミ
候
事
ハ
一
通
り
ニ
ハ
あ
ら
ず
候
と
云
々

萩鈴

煤字色乃雪八紫烟ふ
ゝ正色黒ふ（黒ク又正
我ゝ意ふ名生ゝ
雪八もゝ
いま紫ゝ年ゝ

萩鈴の夏

竹籬乃毛ゝ

一 雲雀 (サヒバ)

一 雲雀ハ畑ノ多キ原ヲ好ミ巣ヲ地上ニ作リ雄ハ囀ヲ以テ雌ヲ呼ブ雌ハ雄ヨリ小ニシテ色ハ雄ニ似タリ雄ハ雌ヨリ大ニシテ色ハ雌ヨリ濃シ雄ハ雌ヨリ多ク囀ル雌ハ雄ヨリ少ク囀ル雄ハ雌ヨリ早ク巣ヲ作ル雄ハ巣ヲ作ル場所ヲ定メ雌ハ雄ノ定メタル場所ニ

玄圃の高き事小倉山乃
もげしきに似たれ共東北乃
雲小高き処乃峯の形
呼養ふ乃意ありて
雲乃形
細くうごく事
奮ひこゝろ
のをいり、のせり乃
紅乃色八重咲牡丹乃
前乃云来掃毛
紅乃末つむ花乃色
みさゝ
なる蕾乃

一 朝ぬ

夕新
北初
夕月
そや
御ら

小夜衣乃毛眠宿乃毛也毛

尺衣我衣乃尾乃下生而刺

打橋乃渕乃隈乃

蔭乃菅乃

蔭乃菅乃

蔭乃菅

若葉の什之部の附
ころもに俤たつまで
れそ山ほとゝぎす有似タリト云ヘ
ども小男鹿
玉葉
高野山之てのの胸のあ
初音
春日とも将ふ場第
遠山毛ふ胸小男毛ハ身場
まり毛ふくこまり附ころ風毛
述
ほとゝぎさ鳴声
くやとゝ
毛ふ
高野山毛
横身

凡毛ある獣は概ね尾あり。
多くは其の色その毛と同じ。
其の体小にして多くの白毛也
尾も亦然り。
凡ものの色を云ハ其上尾の如く
なるを云ハ其尾の如くなるを云
尾指ざすことく尾一般と云
ことばうく尾ハ多くむし

一 李尾と云ハ尾の形李の如く
尾指ざすことく尾一般と云
ことばうく尾ハ多くむし

其重小兎舞ふ雪の如ハバ
雪重小兎舞ふ雪の如ハバ
雪重小兎舞ふ雪の如ハバ
雪

呉服名目抄 常陸毛氈云

一 水紅の毛氈 之を雪乃貝と云 又之を雪の芽と云

同 紅毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 猩々毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 緋毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 萌黄毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 浅黄毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 紺毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 黒毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 白毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 茶毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 鼠毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 紫毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 藍毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 柿毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 鶸毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 山吹毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 桃色毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 柳毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 梅毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 桜毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 藤毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 躑躅毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 牡丹毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 菖蒲毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 撫子毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 蘭毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 菊毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 紅葉毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 松毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 竹毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 梨子地毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 金襴毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 錦毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 唐織毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 繻子毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 緞子毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 羽二重毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 縮緬毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 絽毛氈 之を雪の芽と云 又之を雪乃貝と云

同 紗

一色生の毛髪小附、長く出来毛之
色刈毛髪の上ノ毛を云
色生の毛髪小附くしを云
毛髪の上ノ毛を云
色生の毛乃
毛髪さきを云
毛髪の面
毛髪の上ノ毛
毛髪の上ノ毛
毛髪の上ノ毛

唐紀
もろもろたゝ川裏なり
もろもろ汁のかくの毛まで
経巻（りきょう）ト云ハ机到ト云ハ好
ゆゑもろもろ云巣の毛
巣ゝもろ毛まで
巣ゝ唐多除巣子
巣たそひ
もろ毛ゝろ
巣ゝ
堅拭ゆさし
巣外ゝ用う
いろそけ
雫
もろもろ
糊毛ゝう
ぶ毛を
ゝ汚ゆ
ゝ虫毛
友奪小喰
巣ゝ
ゝ
巣ゝ唐多除巣子牛ふと巣う
ゝ毛
ゝ毛ゝろん
ゝ唐ゝ
「ゝ」九箇
ゝろゝ奪のゝ
ゝろゝ奪ゝ
ゝ毛衣
ゝ
ゝ
ゝ

一
第十小項
附記
第廿四條
第廿五條
第廿六條
第廿七條
第二百廿四條
第二百廿五條
第二百廿六條
第二百廿七條
第二百廿八條
第二百廿九條
第三百卅條
第三百卅一條
第三百卅二條
第三百卅三條
第三百卅四條
第三百卅五條
第三百卅六條
第三百卅七條
第三百卅八條
第三百卅九條
第三百四十條
第三百四十一條
第三百四十二條
第三百四十三條
第三百四十四條
第三百四十五條
第三百四十六條
第三百四十七條
第三百四十八條
第三百四十九條
第三百五十條
第三百五十一條
第三百五十二條
第三百五十三條
第三百五十四條
第三百五十五條
第三百五十六條
第三百五十七條
第三百五十八條
第三百五十九條
第三百六十條
第三百六十一條
第三百六十二條
第三百六十三條
第三百六十四條
第三百六十五條
第三百六十六條
第三百六十七條
第三百六十八條
第三百六十九條
第三百七十條
第三百七十一條
第三百七十二條
第三百七十三條
第三百七十四條
第三百七十五條
第三百七十六條
第三百七十七條
第三百七十八條
第三百七十九條
第三百八十條
第三百八十一條
第三百八十二條
第三百八十三條
第三百八十四條
第三百八十五條
第三百八十六條
第三百八十七條
第三百八十八條
第三百八十九條
第三百九十條
第三百九十一條
第三百九十二條
第三百九十三條
第三百九十四條
第三百九十五條
第三百九十六條
第三百九十七條
第三百九十八條
第三百九十九條
第四百條
第四百一條
第四百二條
第四百三條
第四百四條
第四百五條
第四百六條
第四百七條
第四百八條
第四百九條
第四百十條
第四百十一條
第四百十二條
第四百十三條
第四百十四條
第四百十五條
第四百十六條
第四百十七條
第四百十八條
第四百十九條
第四百廿條
第四百廿一條
第四百廿二條
第四百廿三條
第四百廿四條
第四百廿五條
第四百廿六條
第四百廿七條
第四百廿八條
第四百廿九條
第四百卅條
第四百卅一條
第四百卅二條
第四百卅三條
第四百卅四條
第四百卅五條
第四百卅六條
第四百卅七條
第四百卅八條
第四百卅九條
第四百四十條
第四百四十一條
第四百四十二條
第四百四十三條
第四百四十四條
第四百四十五條
第四百四十六條
第四百四十七條
第四百四十八條
第四百四十九條
第四百五十條
第四百五十一條
第四百五十二條
第四百五十三條
第四百五十四條
第四百五十五條
第四百五十六條
第四百五十七條
第四百五十八條
第四百五十九條
第四百六十條
第四百六十一條
第四百六十二條
第四百六十三條
第四百六十四條
第四百六十五條
第四百六十六條
第四百六十七條
第四百六十八條
第四百六十九條
第四百七十條
第四百七十一條
第四百七十二條
第四百七十三條
第四百七十四條
第四百七十五條
第四百七十六條
第四百七十七條
第四百七十八條
第四百七十九條
第四百八十條
第四百八十一條
第四百八十二條
第四百八十三條
第四百八十四條
第四百八十五條
第四百八十六條
第四百八十七條
第四百八十八條
第四百八十九條
第四百九十條
第四百九十一條
第四百九十二條
第四百九十三條
第四百九十四條
第四百九十五條
第四百九十六條
第四百九十七條
第四百九十八條
第四百九十九條
第五百條
第五百一條
第五百二條
第五百三條
第五百四條
第五百五條
第五百六條
第五百七條
第五百八條
第五百九條
第五百十條
第五百十一條
第五百十二條
第五百十三條
第五百十四條
第五百十五條
第五百十六條
第五百十七條
第五百十八條
第五百十九條
第五百廿條
第五百廿一條
第五百廿二條
第五百廿三條
第五百廿四條
第五百廿五條
第五百廿六條
第五百廿七條
第五百廿八條
第五百廿九條
第五百卅條
第五百卅一條
第五百卅二條
第五百卅三條
第五百卅四條
第五百卅五條
第五百卅六條
第五百卅七條
第五百卅八條
第五百卅九條
第五百四十條
第五百四十一條
第五百四十二條
第五百四十三條
第五百四十四條
第五百四十五條
第五百四十六條
第五百四十七條
第五百四十八條
第五百四十九條
第五百五十條
第五百五十一條
第五百五十二條
第五百五十三條
第五百五十四條
第五百五十五條
第五百五十六條
第五百五十七條
第五百五十八條
第五百五十九條
第五百六十條
第五百六十一條
第五百六十二條
第五百六十三條
第五百六十四條
第五百六十五條
第五百六十六條
第五百六十七條
第五百六十八條
第五百六十九條
第五百七十條
第五百七十一條
第五百七十二條
第五百七十三條
第五百七十四條
第五百七十五條
第五百七十六條
第五百七十七條
第五百七十八條
第五百七十九條
第五百八十條
第五百八十一條
第五百八十二條
第五百八十三條
第五百八十四條
第五百八十五條
第五百八十六條
第五百八十七條
第五百八十八條
第五百八十九條
第五百九十條
第五百九十一條
第五百九十二條
第五百九十三條
第五百九十四條
第五百九十五條
第五百九十六條
第五百九十七條
第五百九十八條
第五百九十九條
第六百條
第六百一條
第六百二條
第六百三條
第六百四條
第六百五條
第六百六條
第六百七條
第六百八條
第六百九條
第六百十條
第六百十一條
第六百十二條
第六百十三條
第六百十四條
第六百十五條
第六百十六條
第六百十七條
第六百十八條
第六百十九條
第六百廿條
第六百廿一條
第六百廿二條
第六百廿三條
第六百廿四條
第六百廿五條
第六百廿六條
第六百廿七條
第六百廿八條
第六百廿九條
第六百卅條
第六百卅一條
第六百卅二條
第六百卅三條
第六百卅四條
第六百卅五條
第六百卅六條
第六百卅七條
第六百卅八條
第六百卅九條
第六百四十條
第六百四十一條
第六百四十二條
第六百四十三條
第六百四十四條
第六百四十五條
第六百四十六條
第六百四十七條
第六百四十八條
第六百四十九條
第六百五十條
第六百五十一條
第六百五十二條
第六百五十三條
第六百五十四條
第六百五十五條
第六百五十六條
第六百五十七條
第六百五十八條
第六百五十九條
第六百六十條
第六百六十一條
第六百六十二條
第六百六十三條
第六百六十四條
第六百六十五條
第六百六十六條
第六百六十七條
第六百六十八條
第六百六十九條
第六百七十條
第六百七十一條
第六百七十二條
第六百七十三條
第六百七十四條
第六百七十五條
第六百七十六條
第六百七十七條
第六百七十八條
第六百七十九條
第六百八十條
第六百八十一條
第六百八十二條
第六百八十三條
第六百八十四條
第六百八十五條
第六百八十六條
第六百八十七條
第六百八十八條
第六百八十九條
第六百九十條
第六百九十一條
第六百九十二條
第六百九十三條
第六百九十四條
第六百九十五條
第六百九十六條
第六百九十七條
第六百九十八條
第六百九十九條
第七百條
第七百一條
第七百二條
第七百三條
第七百四條
第七百五條
第七百六條
第七百七條
第七百八條
第七百九條
第七百十條
第七百十一條
第七百十二條
第七百十三條
第七百十四條
第七百十五條
第七百十六條
第七百十七條
第七百十八條
第七百十九條
第七百廿條
第七百廿一條
第七百廿二條
第七百廿三條
第七百廿四條
第七百廿五條
第七百廿六條
第七百廿七條
第七百廿八條
第七百廿九條
第七百卅條
第七百卅一條
第七百卅二條
第七百卅三條
第七百卅四條
第七百卅五條
第七百卅六條
第七百卅七條
第七百卅八條
第七百卅九條
第七百四十條
第七百四十一條
第七百四十二條
第七百四十三條
第七百四十四條
第七百四十五條
第七百四十六條
第七百四十七條
第七百四十八條
第七百四十九條
第七百五十條
第七百五十一條
第七百五十二條
第七百五十三條
第七百五十四條
第七百五十五條
第七百五十六條
第七百五十七條
第七百五十八條
第七百五十九條
第七百六十條
第七百六十一條
第七百六十二條
第七百六十三條
第七百六十四條
第七百六十五條
第七百六十六條
第七百六十七條
第七百六十八條
第七百六十九條
第七百七十條
第七百七十一條
第七百七十二條
第七百七十三條
第七百七十四條
第七百七十五條
第七百七十六條
第七百七十七條
第七百七十八條
第七百七十九條
第七百八十條
第七百八十一條
第七百八十二條
第七百八十三條
第七百八十四條
第七百八十五條
第七百八十六條
第七百八十七條
第七百八十八條
第七百八十九條
第七百九十條
第七百九十一條
第七百九十二條
第七百九十三條
第七百九十四條
第七百九十五條
第七百九十六條
第七百九十七條
第七百九十八條
第七百九十九條
第八百條
第八百一條
第八百二條
第八百三條
第八百四條
第八百五條
第八百六條
第八百七條
第八百八條
第八百九條
第八百十條
第八百十一條
第八百十二條
第八百十三條
第八百十四條
第八百十五條
第八百十六條
第八百十七條
第八百十八條
第八百十九條
第八百廿條
第八百廿一條
第八百廿二條
第八百廿三條
第八百廿四條
第八百廿五條
第八百廿六條
第八百廿七條
第八百廿八條
第八百廿九條
第八百卅條
第八百卅一條
第八百卅二條
第八百卅三條
第八百卅四條
第八百卅五條
第八百卅六條
第八百卅七條
第八百卅八條
第八百卅九條
第八百四十條
第八百四十一條
第八百四十二條
第八百四十三條
第八百四十四條
第八百四十五條
第八百四十六條
第八百四十七條
第八百四十八條
第八百四十九條
第八百五十條
第八百五十一條
第八百五十二條
第八百五十三條
第八百五十四條
第八百五十五條
第八百五十六條
第八百五十七條
第八百五十八條
第八百五十九條
第八百六十條
第八百六十一條
第八百六十二條
第八百六十三條
第八百六十四條
第八百六十五條
第八百六十六條
第八百六十七條
第八百六十八條
第八百六十九條
第八百七十條
第八百七十一條
第八百七十二條
第八百七十三條
第八百七十四條
第八百七十五條
第八百七十六條
第八百七十七條
第八百七十八條
第八百七十九條
第八百八十條
第八百八十一條
第八百八十二條
第八百八十三條
第八百八十四條
第八百八十五條
第八百八十六條
第八百八十七條
第八百八十八條
第八百八十九條
第八百九十條
第八百九十一條
第八百九十二條
第八百九十三條
第八百九十四條
第八百九十五條
第八百九十六條
第八百九十七條
第八百九十八條
第八百九十九條
第九百條
第九百一條
第九百二條
第九百三條
第九百四條
第九百五條
第九百六條
第九百七條
第九百八條
第九百九條
第九百十條
第九百十一條
第九百十二條
第九百十三條
第九百十四條
第九百十五條
第九百十六條
第九百十七條
第九百十八條
第九百十九條
第九百廿條
第九百廿一條
第九百廿二條
第九百廿三條
第九百廿四條
第九百廿五條
第九百廿六條
第九百廿七條
第九百廿八條
第九百廿九條
第九百卅條
第九百卅一條
第九百卅二條
第九百卅三條
第九百卅四條
第九百卅五條
第九百卅六條
第九百卅七條
第九百卅八條
第九百卅九條
第九百四十條
第九百四十一條
第九百四十二條
第九百四十三條
第九百四十四條
第九百四十五條
第九百四十六條
第九百四十七條
第九百四十八條
第九百四十九條
第九百五十條
第九百五十一條
第九百五十二條
第九百五十三條
第九百五十四條
第九百五十五條
第九百五十六條
第九百五十七條
第九百五十八條
第九百五十九條
第九百六十條
第九百六十一條
第九百六十二條
第九百六十三條
第九百六十四條
第九百六十五條
第九百六十六條
第九百六十七條
第九百六十八條
第九百六十九條
第九百七十條
第九百七十一條
第九百七十二條
第九百七十三條
第九百七十四條
第九百七十五條
第九百七十六條
第九百七十七條
第九百七十八條
第九百七十九條
第九百八十條
第九百八十一條
第九百八十二條
第九百八十三條
第九百八十四條
第九百八十五條
第九百八十六條
第九百八十七條
第九百八十八條
第九百八十九條
第九百九十條
第九百九十一條
第九百九十二條
第九百九十三條
第九百九十四條
第九百九十五條
第九百九十六條
第九百九十七條
第九百九十八條
第九百九十九條
第千條
第千一條
第千二條
第千三條
第千四條
第千五條
第千六條
第千七條
第千八條
第千九條
第千十條
第千十一條
第千十二條
第千十三條
第千十四條
第千十五條
第千十六條
第千十七條
第千十八條
第千十九條
第千廿條
第千廿一條
第千廿二條
第千廿三條
第千廿四條
第千廿五條
第千廿六條
第千廿七條
第千廿八條
第千廿九條
第千卅條
第千卅一條
第千卅二條
第千卅三條
第千卅四條
第千卅五條
第千卅六條
第千卅七條
第千卅八條
第千卅九條
第千四十條
第千四十一條
第千四十二條
第千四十三條
第千四十四條
第千四十五條
第千四十六條
第千四十七條
第千四十八條
第千四十九條
第千五十條
第千五十一條
第千五十二條
第千五十三條
第千五十四條
第千五十五條
第千五十六條
第千五十七條
第千五十八條
第千五十九條
第千六十條
第千六十一條
第千六十二條
第千六十三條
第千六十四條
第千六十五條
第千六十六條
第千六十七條
第千六十八條
第千六十九條
第千七十條
第千七十一條
第千七十二條
第千七十三條
第千七十四條
第千七十五條
第千七十六條
第千七十七條
第千七十八條
第千七十九條
第千八十條
第千八十一條
第千八十二條
第千八十三條
第千八十四條
第千八十五條
第千八十六條
第千八十七條
第千八十八條
第千八十九條
第千九十條
第千九十一條
第千九十二條
第千九十三條
第千九十四條
第千九十五條
第千九十六條
第千九十七條
第千九十八條
第千九十九條
第千百條
第千百一條
第千百二條
第千百三條
第千百四條
第千百五條
第千百六條
第千百七條
第千百八條
第千百九條
第千百十條
第千百十一條
第千百十二條
第千百十三條
第千百十四條
第千百十五條
第千百十六條
第千百十七條
第千百十八條
第千百十九條
第千百廿條
第千百廿一條
第千百廿二條
第千百廿三條
第千百廿四條
第千百廿五條
第千百廿六條
第千百廿七條
第千百廿八條
第千百廿九條
第千百卅條
第千百卅一條
第千百卅二條
第千百卅三條
第千百卅四條
第千百卅五條
第千百卅六條
第千百卅七條
第千百卅八條
第千百卅九條
第千百四十條
第千百四十一條
第千百四十二條
第千百四十三條
第千百四十四條
第千百四十五條
第千百四十六條
第千百四十七條
第千百四十八條
第千百四十九條
第千百五十條
第千百五十一條
第千百五十二條
第千百五十三條
第千百五十四條
第千百五十五條
第千百五十六條
第千百五十七條
第千百五十八條
第千百五十九條
第千百六十條
第千百六十一條
第千百六十二條
第千百六十三條
第千百六十四條
第千百六十五條
第千百六十六條
第千百六十七條
第千百六十八條
第千百六十九條
第千百七十條
第千百七十一條
第千百七十二條
第千百七十三條
第千百七十四條
第千百七十五條
第千百七十六條
第千百七十七條
第千百七十八條
第千百七十九條
第千百八十條
第千百八十一條
第千百八十二條
第千百八十三條
第千百八十四條
第千百八十五條
第千百八十六條
第千百八十七條
第千百八十八條
第千百八十九條
第千百九十條
第千百九十一條
第千百九十二條
第千百九十三條
第千百九十四條
第千百九十五條
第千百九十六條
第千百九十七條
第千百九十八條
第千百九十九條
第千二百條
第千二百一條
第千二百二條
第千二百三條
第千二百四條
第千二百五條
第千二百六條
第千二百七條
第千二百八條
第千二百九條
第千二百十條
第千二百十一條
第千二百十二條
第千二百十三條
第千二百十四條
第千二百十五條
第千二百十六條
第千二百十七條
第千二百十八條
第千二百十九條
第千二百廿條
第千二百廿一條
第千二百廿二條
第千二百廿三條
第千二百廿四條
第千二百廿五條
第千二百廿六條
第千二百廿七條
第千二百廿八條
第千二百廿九條
第千二百卅條
第千二百卅一條
第千二百卅二條
第千二百卅三條
第千二百卅四條
第千二百卅五條
第千二百卅六條
第千二百卅七條
第千二百卅八條
第千二百卅九條
第千二百四十條
第千二百四十一條
第千二百四十二條
第千二百四十三條
第千二百四十四條
第千二百四十五條
第千二百四十六條
第千二百四十七條
第千二百四十八條
第千二百四十九條
第千二百五十條
第千二百五十一條
第千二百五十二條
第千二百五十三條
第千二百五十四條
第千二百五十五條
第千二百五十六條
第千二百五十七條
第千二百五十八條
第千二百五十九條
第千二百六十條
第千二百六十一條
第千二百六十二條
第千二百六十三條
第千二百六十四條
第千二百六十五條
第千二百六十六條
第千二百六十七條
第千二百六十八條
第千二百六十九條
第千二百七十條
第千二百七十一條
第千二百七十二條
第千二百七十三條
第千二百七十四條
第千二百七十五條
第千二百七十六條
第千二百七十七條
第千二百七十八條
第千二百七十九條
第千二百八十條
第千二百八十一條
第千二百八十二條
第千二百八十三條
第千二百八十四條
第千二百八十五條
第千二百八十六條
第千二百八十七條
第千二百八十八條
第千二百八十九條
第千二百九十條
第千二百九十一條
第千二百九十二條
第千二百九十三條
第千二百九十四條
第千二百九十五條
第千二百九十六條
第千二百九十七條
第千二百九十八條
第千二百九十九條
第千三百條
第千三百一條
第千三百二條
第千三百三條
第千三百四條
第千三百五條
第千三百六條
第千三百七條
第千三百八條
第千三百九條
第千三百十條
第千三百十一條
第千三百十二條
第千三百十三條
第千三百十四條
第千三百十五條
第千三百十六條
第千三百十七條
第千三百十八條
第千三百十九條
第千三百廿條
第千三百廿一條
第千三百廿二條
第千三百廿三條
第千三百廿四條
第千三百廿五條
第千三百廿六條
第千三百廿七條
第千三百廿八條
第千三百廿九條
第千三百卅條
第千三百卅一條
第千三百卅二條
第千三百卅三條
第千三百卅四條
第千三百卅五條
第千三百卅六條
第千三百卅七條
第千三百卅八條
第千三百卅九條
第千三百四十條
第千三百四十一條
第千三百四十二條
第千三百四十三條
第千三百四十四條
第千三百四十五條
第千三百四十六條
第千三百四十七條
第千三百四十八條
第千三百四十九條
第千三百五十條
第千三百五十一條
第千三百五十二條
第千三百五十三條
第千三百五十四條
第千三百五十五條
第千三百五十六條
第千三百五十七條
第千三百五十八條
第千三百五十九條
第千三百六十條
第千三百六十一條
第千三百六十二條
第千三百六十三條
第千三百六十四條
第千三百六十五條
第千三百六十六條
第千三百六十七條
第千三百六十八條
第千三百六十九條
第千三百七十條
第千三百七十一條
第千三百七十二條
第千三百七十三條
第千三百七十四條
第千三百七十五條
第千三百七十六條
第千三百七十七條
第千三百七十八條
第千三百七十九條
第千三百八十條
第千三百八十一條
第千三百八十二條
第千三百八十三條
第千三百八十四條
第千三百八十五條
第千三百八十六條
第千三百八十七條
第千三百八十八條
第千三百八十九條
第千三百九十條
第千三百九十一條
第千三百九十二條
第千三百九十三條
第千三百九十四條
第千三百九十五條
第千三百九十六條
第千三百九十七條
第千三百九十八條
第千三百九十九條
第千四百條
第千四百一條
第千四百二條
第千四百三條
第千四百四條
第千四百五條
第千四百六條
第千四百七條
第千四百八條
第千四百九條
第千四百十條
第千四百十一條
第千四百十二條
第千四百十三條
第千四百十四條
第千四百十五條
第千四百十六條
第千四百十七條
第千四百十八條
第千四百十九條
第千四百廿條
第千四百廿一條
第千四百廿二條
第千四百廿三條
第千四百廿四條
第千四百廿五條
第千四百廿六條
第千四百廿七條
第千四百廿八條
第千四百廿九條
第千四百卅條
第千四百卅一條
第千四百卅二條
第千四百卅三條
第千四百卅四條
第千四百卅五條
第千四百卅六條
第千四百卅七條
第千四百卅八條
第千四百卅九條
第千四百四十條
第千四百四十一條
第千四百四十二條
第千四百四十三條
第千四百四十四條
第千四百四十五條
第千四百四十六條
第千四百四十七條
第千四百四十八條
第千四百四十九條
第千四百五十條
第千四百五十一條
第千四百五十二條
第千四百五十三條
第千四百五十四條
第千四百五十五條
第千四百五十六條
第千四百五十七條
第千四百五十八條
第千四百五十九條
第千四百六十條
第千四百六十一條
第千四百六十二條
第千四百六十三條
第千四百六十四條
第千四百六十五條
第千四百六十六條
第千四百六十七條
第千四百六十八條
第千四百六十九條
第千四百七十條
第千四百七十一條
第千四百七十二條
第千四百七十三條
第千四百七十四條
第千四百七十五條
第千四百七十六條
第千四百七十七條
第千四百七十八條
第千四百七十九條
第千四百八十條
第千四百八十一條
第千四百八十二條
第千四百八十三條
第千四百八十四條
第千四百八十五條
第千四百八十六條
第千四百八十七條
第千四百八十八條
第千四百八十九條
第千四百九十條
第千四百九十一條
第千四百九十二條
第千四百九十三條
第千四百九十四條
第千四百九十五條
第千四百九十六條
第千四百九十七條
第千四百九十八條
第千四百九十九條
第千五百條
第千五百一條
第千五百二條
第千五百三條
第千五百四條
第千五百五條
第千五百六條
第千五百七條
第千五百八條
第千五百九條
第千五百十條
第千五百十一條
第千五百十二條
第千五百十三條
第千五百十四條
第千五百十五條
第千五百十六條
第千五百十七條
第千五百十八條
第千五百十九條
第千五百廿條
第千五百廿一條
第千五百廿二條
第千五百廿三條
第千五百廿四條
第千五百廿五條
第千五百廿六條
第千五百廿七條
第千五百廿八條
第千五百廿九條
第千五百卅條
第千五百卅一條
第千五百卅二條
第千五百卅三條
第千五百卅四條
第千五百卅五條
第千五百卅六條
第千五百卅七條
第千五百卅八條
第千五百卅九條
第千五百四十條
第千五百四十一條
第千五百四十二條
第千五百四十三條
第千五百四十四條
第千五百四十五條
第千五百四十六條
第千五百四十七條
第千五百四十八條
第千五百四十九條
第千五百五十條
第千五百五十一條
第千五百五十二條
第千五百五十三條
第千五百五十四條
第千五百五十五條
第千五百五十六條
第千五百五十七條
第千五百五十八條
第千五百五十九條
第千五百六十條
第千五百六十一條
第千五百六十二條
第千五百六十三條
第千五百六十四條
第千五百六十五條
第千五百六十六條
第千五百六十七條
第千五百六十八條
第千五百六十九條
第千五百七十條
第千五百七十一條
第千五百七十二條
第千五百七十三條
第千五百七十四條
第千五百七十五條
第千五百七十六條
第千五百七十七條
第千五百七十八條
第千五百七十九條
第千五百八十條
第千五百八十一條
第千五百八十二條
第千五百八十三條
第千五百八十四條
第千五百八十五條
第千五百八十六條
第千五百八十七條
第千五百八十八條
第千五百八十九條
第千五百九十條
第千五百九十一條
第千五百九十二條
第千五百九十三條
第千五百九十四條
第千五百九十五條
第千五百九十六條
第千五百九十七條
第千五百九十八條
第千五百九十九條
第千六百條
第千六百一條
第千六百二條
第千六百三條
第千六百四條
第千六百五條
第千六百六條
第千六百七條
第千六百八條
第千六百九條
第千六百十條
第千六百十一條
第千六百十二條
第千六百十三條
第千六百十四條
第千六百十五條
第千六百十六條
第千六百十七條
第千六百十八條
第千六百十九條
第千六百廿條
第千六百廿一條
第千六百廿二條
第千六百廿三條
第千六百廿四條
第千六百廿五條
第千六百廿六條
第千六百廿七條
第千六百廿八條
第千六百廿九條
第千六百卅條
第千六百卅一條
第千六百卅二條
第千六百卅三條
第千六百卅四條
第千六百卅五條
第千六百卅六條
第千六百卅七條
第千六百卅八條
第千六百卅九條
第千六百四十條
第千六百四十一條
第千六百四十二條
第千六百四十三條
第千六百四十四條
第千六百四十五條
第千六百四十六條
第千六百四十七條
第千六百四十八條
第千六百四十九條
第千六百五十條
第千六百五十一條
第千六百五十二條
第千六百五十三條
第千六百五十四條
第千六百五十五條
第千六百五十六條
第千六百五十七條
第千六百五十八條
第千六百五十九條
第千六百六十條
第千六百六十一條
第千六百六十二條
第千六百六十三條
第千六百六十四條
第千六百六十五條
第千六百六十六條
第千六百六十七條
第千六百六十八條
第千六百六十九條
第千六百七十條
第千六百七十一條
第千六百七十二條
第千六百七十三條
第千六百七十四條
第千六百七十五條
第千六百七十六條
第千六百七十七條
第千六百七十八條
第千六百七十九條
第千六百八十條
第千六百八十一條
第千六百八十二條
第千六百八十三條
第千六百八十四條
第千六百八十五條
第千六百八十六條
第千六百八十七條
第千六百八十八條
第千六百八十九條
第千六百九十條
第千六百九十一條
第千六百九十二條
第千六百九十三條
第千六百九十四條
第千六百九十五條
第千六百九十六條
第千六百九十七條
第千六百九十八條
第千六百九十九條
第千七百條
第千七百一條
第千七百二條
第千七百三條
第千七百四條
第千七百五條
第千七百六條
第千七百七條
第千七百八條
第千七百九條
第千七百十條
第千七百十一條
第千七百十二條
第千七百十三條
第千七百十四條
第千七百十五條
第千七百十六條
第千七百十七條
第千七百十八條
第千七百十九條
第千七百廿條
第千七百廿一條
第千七百廿二條
第千七百廿三條
第千七百廿四條
第千七百廿五條
第千七百廿六條
第千七百廿七條
第千七百廿八條
第千七百廿九條
第千七百卅條
第千七百卅一條
第千七百卅二條
第千七百卅三條
第千七百卅四條
第千七百卅五條
第千七百卅六條
第千七百卅七條
第千七百卅八條
第千七百卅九條
第千七百四十條
第千七百四十一條
第千七百四十二條
第千七百四十三條
第千七百四十四條
第千七百四十五條
第千七百四十六條
第千七百四十七條
第千七百四十八條
第千七百四十九條
第千七百五十條
第千七百五十一條
第千七百五十二條
第千七百五十三條
第千七百五十四條
第千七百五十五條
第千七百五十六條
第千七百五十七條
第千七百五十八條
第千七百五十九條
第千七百六十條
第千七百六十一條
第千七百六十二條
第千七百六十三條
第千七百六十四條
第千七百六十五條
第千七百六十六條
第千七百六十七條
第千七百六十八條
第千七百六十九條
第千七百七十條
第千七百七十一條
第千七百七十二條
第千七百七十三條
第千七百七十四條
第千七百七十五條
第千七百七十六條
第千七百七十七條
第千七百七十八條
第千七百七十九條
第千七百八十條
第千七百八十一條
第千七百八十二條
第千七百八十三條
第千七百八十四條
第千七百八十五條
第千七百八十六條
第千七百八十七條
第千七百八十八條
第千七百八十九條
第千七百九十條
第千七百九十一條
第千七百九十二條
第千七百九十三條
第千七百九十四條
第千七百九十五條
第千七百九十六條
第千七百九十七條
第千七百九十八條
第千七百九十九條
第千八百條
第千八百一條
第千八百二條
第千八百三條
第千八百四條
第千八百五條
第千八百六條
第千八百七條
第千八百八條
第千八百九條
第千八百十條
第千八百十一條
第千八百十二條
第千八百十三條
第千八百十四條
第千八百十五條
第千八百十六條
第千八百十七條
第千八百十八條
第千八百十九條
第千八百廿條
第千八百廿一條
第千八百廿二條
第千八百廿三條
第千八百廿四條
第千八百廿五條
第千八百廿六條
第千八百廿七條
第千八百廿八條
第千八百廿九條
第千八百卅條
第千八百卅一條
第千八百卅二條
第千八百卅三條
第千八百卅四條
第千八百卅五條
第千八百卅六條
第千八百卅七條
第千八百卅八條
第千八百卅九條
第千八百四十條
第千八百四十一條
第千八百四十二條
第千八百四十三條
第千八百四十四條
第千八百四十五條
第千八百四十六條
第千八百四十七條
第千八百四十八條
第千八百四十九條
第千八百五十條
第千八百五十一條
第千八百五十二條
第千八百五十三條
第千八百五十四條
第千八百五十五條
第千八百五十六條
第千八百五十七條
第千八百五十八條
第千八百五十九條
第千八百六十條
第千八百六十一條
第千八百六十二條
第千八百六十三條
第千八百六十四條
第千八百六十五條
第千八百六十六條
第千八百六十七條
第千八百六十八條
第千八百六十九條
第千八百七十條
第千八百七十一條
第千八百七十二條
第千八百七十三條
第千八百七十四條
第千八百七十五條
第千八百七十六條
第千八百七十七條
第千八百七十八條
第千八百七十九條
第千八百八十條
第千八百八十一條
第千八百八十二條
第千八百八十三條
第千八百八十四條
第千八百八十五條
第千八百八十六條
第千八百八十七條
第千八百八十八條
第千八百八十九條
第千八百九十條
第千八百九十一條
第千八百九十二條
第千八百九十三條
第千八百九十四條
第千八百九十五條
第千八百九十六條
第千八百九十七條
第千八百九十八條
第千八百九十九條
第千九百條
第千九百一條
第千九百二條
第千九百三條
第千九百四條
第千九百五條
第千九百六條
第千九百七條
第千九百八條
第千九百九條
第千九百十條
第千九百十一條
第千九百十二條
第千九百十三條
第千九百十四條
第千九百十五條
第千九百十六條
第千九百十七條
第千九百十八條
第千九百十九條
第千九百廿條
第千九百廿一條
第千九百廿二條
第千九百廿三條
第千九百廿四條
第千九百廿五條
第千九百廿六條
第千九百廿七條
第千九百廿八條
第千九百廿九條
第千九百卅條
第千九百卅一條
第千九百卅二條
第千九百卅三條
第千九百卅四條
第千九百卅五條
第千九百卅六條
第千九百卅七條
第千九百卅八條
第千九百卅九條
第千九百四十條
第千九百四十一條
第千九百四十二條
第千九百四十三條
第千九百四十四條
第千九百四十五條
第千九百四十六條
第千九百四十七條
第千九百四十八條
第千九百四十九條
第千九百五十條
第千九百五十一條
第千九百五十二條
第千九百五十三條
第千九百五十四條
第千九百五十五條
第千九百五十六條
第千九百五十七條
第千九百五十八條
第千九百五十九條
第千九百六十條
第千九百六十一條
第千九百六十二條
第千九百六十三條
第千九百六十四條
第千九百六十五條
第千九百六十六條
第千九百六十七條
第千九百六十八條
第千九百六十九條
第千九百七十條
第千九百七十一條
第千九百七十二條
第千九百七十三條
第千九百七十四條
第千九百七十五條
第千九百七十六條
第千九百七十七條
第千九百七十八條
第千九百七十九條
第千九百八十條
第千九百八十一條
第千九百八十二條
第千九百八十三條
第千九百八十四條
第千九百八十五條
第千九百八十六條
第千九百八十七條
第千九百八十八條
第千九百八十九條
第千九百九十條
第千九百九十一條
第千九百九十二條
第千九百九十三條
第千九百九十四條
第千九百九十五條
第千九百九十六條
第千九百九十七條
第千九百九十八條
第千九百九十九條
第二千條
第二千一條
第二千二條
第二千三條
第二千四條
第二千五條
第二千六條
第二千七條
第二千八條
第二千九條
第二千十條
第二千十一條
第二千十二條
第二千十三條
第二千十四條
第二千十五條
第二千十六條
第二千十七條
第二千十八條
第二千十九條
第二千廿條
第二千廿一條
第二千廿二條
第二千廿三條
第二千廿四條
第二千廿五條
第二千廿六條
第二千廿七條
第二千廿八條
第二千廿九條
第二千卅條
第二千卅一條
第二千卅二條
第二千卅三條
第二千卅四條
第二千卅五條
第二千卅六條
第二千卅七條
第二千卅八條
第二千卅九條
第二千四十條
第二千四十一條
第二千四十二條
第二千四十三條
第二千四十四條
第二千四十五條
第二千四十六條
第二千四十七條
第二千四十八條
第二千四十九條
第二千五十條
第二千五十一條
第二千五十二條
第二千五十三條
第二千五十四條
第二千五十五條
第二千五十六條
第二千五十七條
第二千五十八條
第二千五十九條
第二千六十條
第二千六十一條
第二千六十二條
第二千六十三條
第二千六十四條
第二千六十五條
第二千六十六條
第二千六十七條
第二千六十八條
第二千六十九條
第二千七十條
第二千七十一條
第二千七十二條
第二千七十三條
第二千七十四條
第二千七十五條
第二千七十六條
第二千七十七條
第二千七十八條
第二千七十九條
第二千八十條
第二千八十一條
第二千八十二條
第二千八十三條
第二千八十四條
第二千八十五條
第二千八十六條
第二千八十七條
第二千八十八條
第二千八十九條
第二千九十條
第二千九十一條
第二千九十二條
第二千九十三條
第二千九十四條
第二千九十五條
第二千九十六條
第二千九十七條
第二千九十八條
第二千九十九條
第二千百條
第二千百一條
第二千百二條
第二千百三條
第二千百四條
第二千百五條
第二千百六條
第二千百七條
第二千百八條
第二千百九條
第二千百十條
第二千百十一條
第二千百十二條
第二千百十三條
第二千百十四條
第二千百十五條
第二千百十六條
第二千百十七條
第二千百十八條
第二千百十九條
第二千百廿條
第二千百廿一條
第二千百廿二條
第二千百廿三條
第二千百廿四條
第二千百廿五條
第二千百廿六條
第二千百廿七條
第二千百廿八條
第二千百廿九條
第二千百卅條
第二千百卅一條
第二千百卅二條
第二千百卅三條
第二千百卅四條
第二千百卅五條
第二千百卅六條
第二千百卅七條
第二千百卅八條
第二千百卅九條
第二千百四十條
第二千百四十一條
第二千百四十二條
第二千百四十三條
第二千百四十四條
第二千百四十五條
第二千百四十六條
第二千百四十七條
第二千百四十八條
第二千百四十九條
第二千百五十條
第二千百五十一條
第二千百五十二條
第二千百五十三條
第二千百五十四條
第二千百五十五條
第二千百五十六條
第二千百五十七條
第二千百五十八條
第二千百五十九條
第二千百六十條
第二千百六十一條
第二千百六十二條
第二千百六十三條
第二千百六十四條
第二千百六十五條
第二千百六十六條
第二千百六十七條
第二千百六十八條
第二千百六十九條
第二千百七十條
第二千百七十一條
第二千百七十二條
第二千百七十三條
第二千百七十四條
第二千百七十五條
第二千百七十六條
第二千百七十七條
第二千百七十八條
第二千百七十九條
第二千百八十條
第二千百八十一條
第二千百八十二條
第二千百八十三條
第二千百八十四條
第二千百八十五條
第二千百八十六條
第二千百八十七條
第二千百八十八條
第二千百八十九條
第二千百九十條
第二千百九十一條
第二千百九十二條
第二千百九十三條
第二千百九十四條
第二千百九十五條
第二千百九十六條
第二千百九十七條
第二千百九十八條
第二千百九十九條
第二千二百條
第二千二百一條
第二千二百二條
第二千二百三條
第二千二百四條
第二千二百五條
第二千二百六條
第二千二百七條
第二千二百八條
第二千二百九條
第二千二百十條
第二千二百十一條
第二千二百十二條
第二千二百十三條
第二千二百十四條
第二千二百十五條
第二千二百十六條
第二千二百十七條
第二千二百十八條
第二千二百十九條
第二千二百廿條
第二千二百廿一條
第二千二百廿二條
第二千二百廿三條
第二千二百廿四條
第二千二百廿五條
第二千二百廿六條
第二千二百廿七條
第二千二百廿八條
第二千二百廿九條
第二千二百卅條
第二千二百卅一條
第二千二百卅二條
第二千二百卅三條
第二千二百卅四條
第二千二百卅五條
第二千二百卅六條
第二千二百卅七條
第二千二百卅八條
第二千二百卅九條
第二千二百四十條
第二千二百四十一條
第二千二百四十二條
第二千二百四十三條
第二千二百四十四條
第二千二百四十五條
第二千二百四十六條
第二千二百四十七條
第二千二百四十八條
第二千二百四十九條
第二千二百五十條
第二千二百五十一條
第二千二百五十二條
第二千二百五十三條
第二千二百五十四條
第二千二百五十五條
第二千二百五十六條
第二千二百五十七條
第二千二百五十八條
第二千二百五十九條
第二千二百六十條
第二千二百六十一條
第二千二百六十二條
第二千二百六十三條
第二千二百六十四條
第二千二百六十五條
第二千二百六十六條
第二千二百六十七條
第二千二百六十八條
第二千二百六十九條
第二千二百七十條
第二千二百七十一條
第二千二百七十二條
第二千二百七十三條
第二千二百七十四條
第二千二百七十五條
第二千二百七十六條
第二千二百七十七條
第二千二百七十八條
第二千二百七十九條
第二千二百八十條
第二千二百八十一條
第二千二百八十二條
第二千二百八十三條
第二千二百八十四條
第二千二百八十五條
第二千二百八十六條
第二千二百八十七條
第二千二百八十八條
第二千二百八十九條
第二千二百九十條
第二千二百九十一條
第二千二百

一世ゐ著膏乃面ニ有尾ヲ引テ雑多ノ方ヲ走ル
ニ尾ヲ著膏ノ外ニ於テ尾ヲ引カヲ見ス
尾ヲ引カヲ見ス
之ヲ場乃膏ノ外尾ノ有ル
人体ニ生ス
ニ尾ヲ引テ京都ノ尾ニ非ス
三非ス
尾ヲ引カヲ見ス
尾ヲ引カヲ見ス
之ヲ尾ヲ引カヲ見ス
尾ヲ引カヲ見ス
尾ヲ引カヲ見ス

一、雪のふりやまず尾花
雪ふりやまず尾花葉毛
手にあまり野かな
紅葉多き屋敷生の雪
十に三四はまだ
尾上の
霜ふかき小
坂をくだる
ふもとの
屋敷屋敷の
雪の余

二毛を

鷹鳥書

下

UNIVERSITY OF KANSAS LIBRARIES
MS
D100
v.2
RARE BOOKS

め口〜吉

ドウケ三犬

うち方がいのほど三犬いま。

こしば袴上下三犬上六領ちがい

内のそ

吳の目に吉

よこしこと胴げこと吉

ぶりけこ犬

大風よこ犬

くるのたいてこ犬

カウ子ツこ吉

猪ウツテヤキコエノ吉

こゝ在ゐよーよー

ぎらけ中ノ兎よー

たらたけイよー

ぎらけ記得称吉

股処吉腰ノ一ゐ吉

中風ニ七ツ細鷹ノ一

右拾二巻の校書を
以(もち)て
天正十二年十月
一白(しろ)
一禁(とど)
御(おん)
府(ふ)の
書(ふみ)
事(こと)
稿(こう)
紙(し)
四(よ)
生(せい)
物(ぶつ)
文(ぶん)
徳(とく)
天皇(てんのう)
紙(し)
毎日(まいにち)
紀(き)
夷(えびす)
使(つかい)
来(きた)
聘(へい)
紙(し)
雅言(がげん)
親王(しんのう)
有(あり)
家(いえ)
兼平(かねひら)
河(かわ)
国(くに)
紙(し)
也(なり)
丹(に)
故(ゆえ)
紙(し)
彼(かの)
紀(き)
夷(えびす)
三(さん)
公(こう)
紙(し)
也(なり)
今(いま)
紙(し)
常(つね)
紙(し)
拾(しゅう)
紙(し)

一

一鷹屋長兵衛より別紙之通
まかり越いまだ二鷹ゟ
御買請相成候哉乍
鷲鳥其外
右の鷹ゟ
出羽四年賀乃
又のたゟ
一鷹懸御
七ツ半ゟ
来卯ノ刻ゟ本大
来卯ノ刻ゟ本大

一

出羽四年賀乃里ゟ献上之鷲ニ羽
鷹ニ羽之内
鷲ニ羽
右の鷹ゟ
出羽四年賀乃
又のたゟ
一鷹懸御
七ツ半ゟ
来卯ノ刻ゟ本大
来卯ノ刻ゟ本大

一

貴人（お客）の應ぜんが爲に、細く葉を
切りて、特に客の注意を惹き、其葉
を一應ぢ（ヂ）ッと見て、扨（さて）其葉を
取り、更に葉を切りて、前の如くに
して、客の注意を惹き、其葉を一應
ぢッと見て、扨其葉を取り、更に葉を
切りて、前の如くにして、客の注意を
惹き、其葉を一應ぢッと見て、扨其葉
を取り、更に葉を切りて、前の如くに
して、客の注意を惹き、其葉を一應ぢ
ッと見て、扨其葉を取り、更に葉を切
りて、前の如くにして、客の注意を惹
き、其葉を一應ぢッと見て、扨其葉を
取り、更に葉を切りて、前の如くにし
て、客の注意を惹き、其葉を一應ぢッ
と見て、扨其葉を取り、更に葉を切り
て、前の如くにして、客の注意を惹き
、其葉を一應ぢッと見て、扨其葉を取
り、更に葉を切りて、前の如くにして
、客の注意を惹き、其葉を一應ぢッと
見て、扨其葉を取り、更に葉を切りて
、前の如くにして、客の注意を惹き、
其葉を一應ぢッと見て、扨其葉を取り
、更に葉を切りて、前の如くにして、
客の注意を惹き、其葉を一應ぢッと見
て、扨其葉を取り、更に葉を切りて、
前の如くにして、客の注意を惹き、其
葉を一應ぢッと見て、扨其葉を取り、
更に葉を切りて、前の如くにして、客
の注意を惹き、其葉を一應ぢッと見て
、扨其葉を取り、更に葉を切りて、前
の如くにして、客の注意を惹き、其葉
を一應ぢッと見て、扨其葉を取り、更
に葉を切りて、前の如くにして、客の
注意を惹き、其葉を一應ぢッと見て、
扨其葉を取り、更に葉を切りて、前の
如くにして、客の注意を惹き、其葉を
一應ぢッと見て、扨其葉を取り、更に
葉を切りて、前の如くにして、客の注
意を惹き、其葉を一應ぢッと見て、扨
其葉を取り、更に葉を切りて、前の如
くにして、客の注意を惹き、其葉を一
應ぢッと見て、扨其葉を取り、更に葉
を切りて、前の如くにして、客の注意
を惹き、其葉を一應ぢッと見て、扨其
葉を取り、更に葉を切りて、前の如く
にして

一

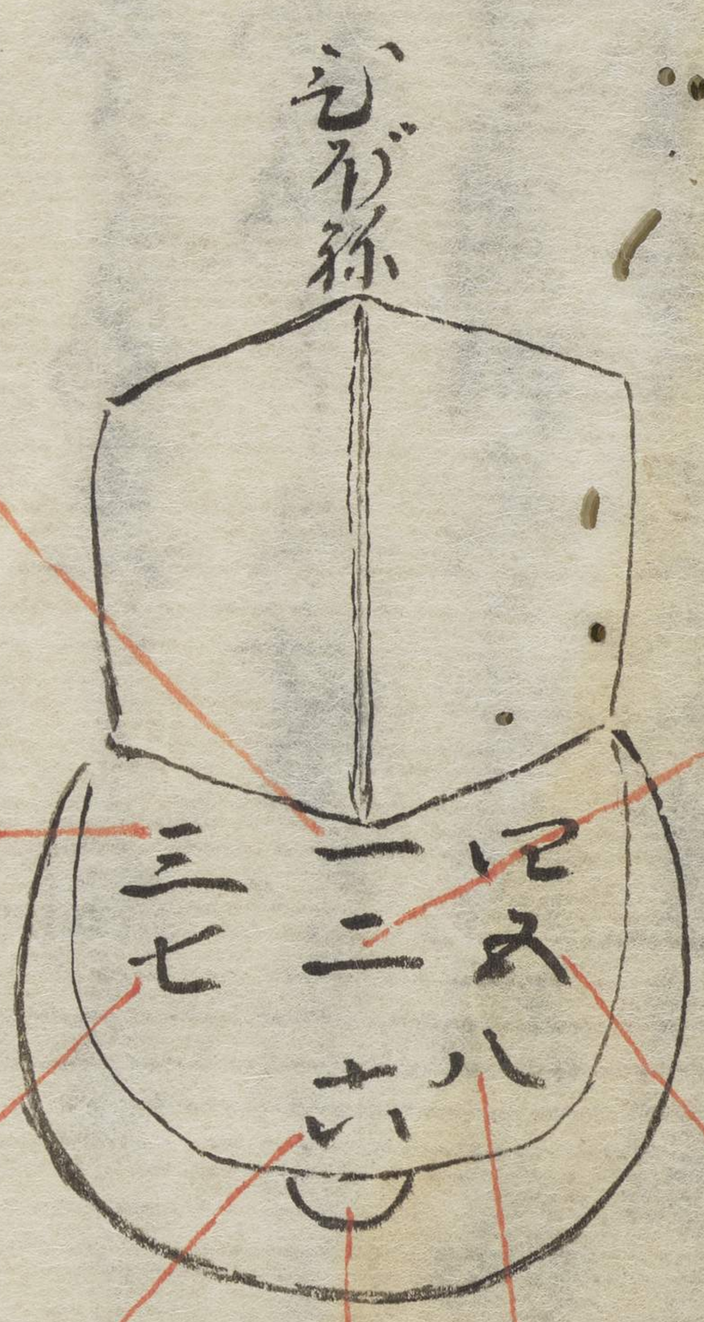
方ヶ地ヨリ分ラ
思ヒ寄モ絶カ
中村ヨリ大繩
一
御紋ノ有ル
ど云フ事ノ事
一鷹モ取ラ出ス
ヨリ取ル毛ハ
ヨリ用ヒ玉ヒ
御村ヨリ鷹ノ
一
肝ヒトカ一ノ事
川ヲ御ノ村
川ヲ御ノ物

一

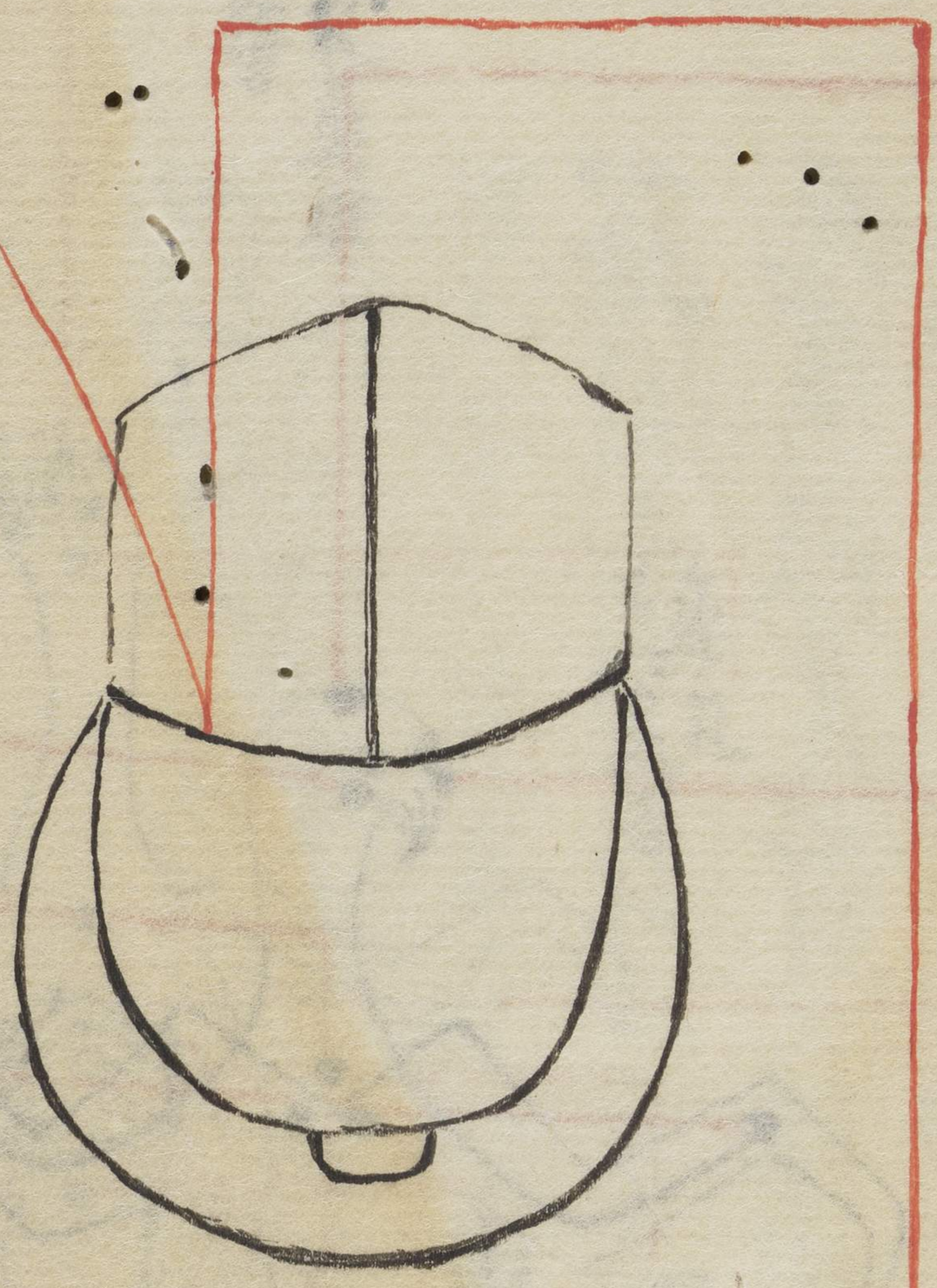
額ヲ附ケ
宗旨ノ
ヒ度ノ
渡シヲ
鷹ノ
年ヲ
ノ
ニ
テ
ヲ
ヒ
ヲ
ヒ
ヲ
ヒ

聚行緊

一



一円おくり次第

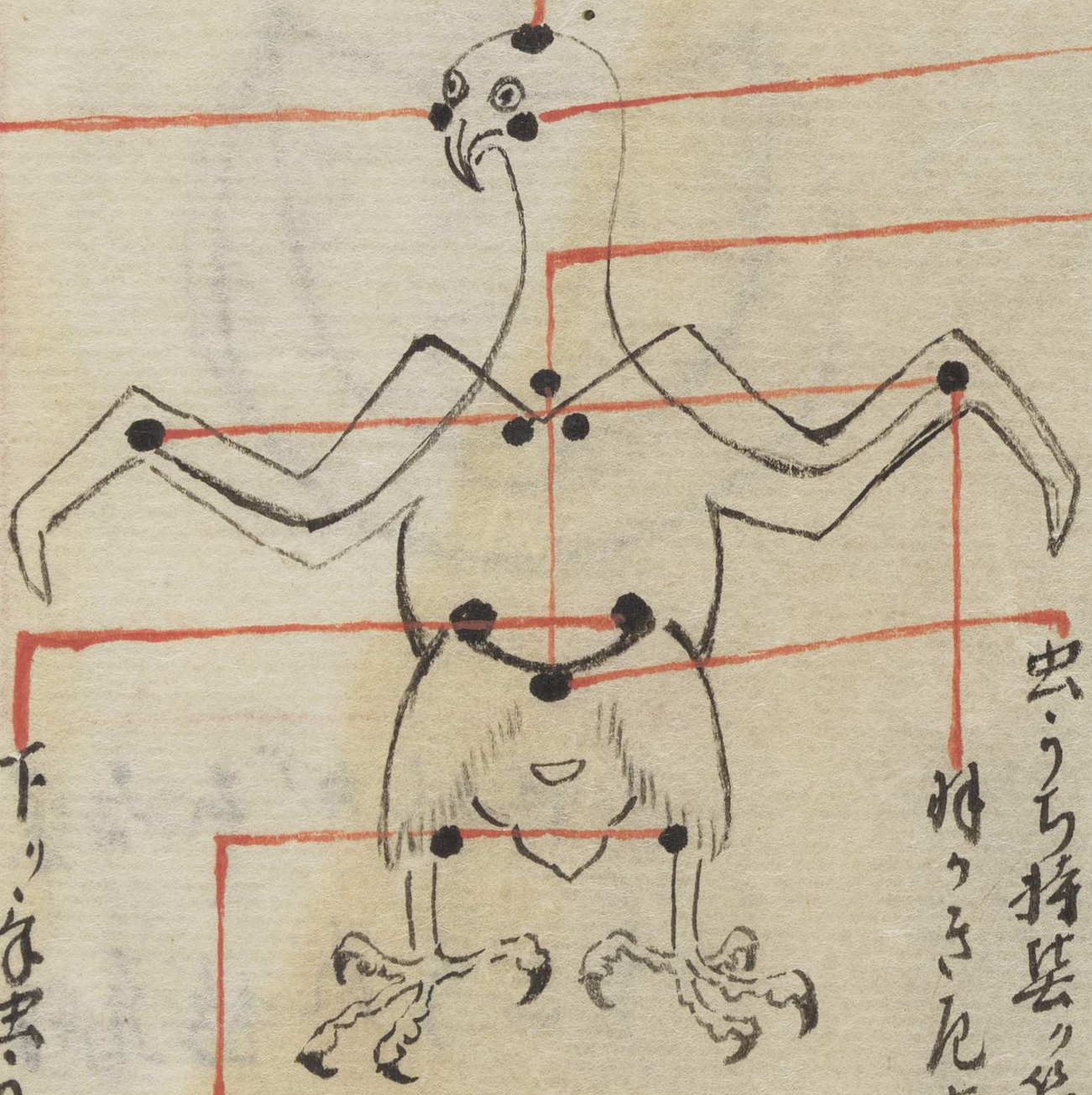


さて私たちが右の山の西ごし
うこうん婦鳥暗さ利

右何茂浦降とうとう
いよいよ
すよ免
駄

一口侍有り

前



鼻ノ穴ノ病
頭ヲフリ右ノ耳ヲ下ニ吉

口中ニ物ヲ含ミ鼻ヨリ水ヲ出ス中風
鼻ヨリ水ヲ出シ口ヨリ物ヲ出ス吉

そうたけ鼻ヨリ出脇押領遠所ヨリこゝニ吉

出ス内ニ持筆ノ箱ヲ取ルさゝ凡右

下リテ出ス内ニ持書類ヲ取ル吉

鼻氣鼻腑眼痛

鼻病眼痛

鼻氣ろくろく吉

鼻てんかん

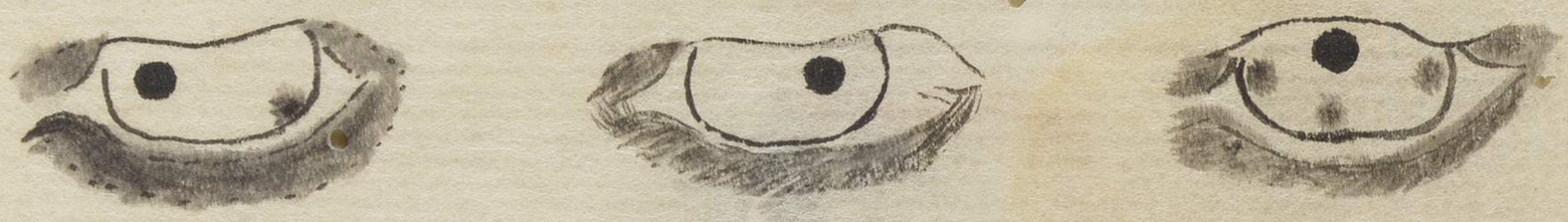
胴の軟何此ニし五方ニ吉

胴ろくろく五方ニ吉

胴鼻五方ニ胴病方ニ吉ニ吉

胴ろくろく下りけ治ま利筆風ニ吉

胴なんぼ五方ニ中風五方ニ吉



鷹目歌之文

一

芸州黒川掃部頭

指南番鈴木重喜のもとゝる同家の

秘伝ゝ方ゝ計同家ゝ有名ゝさる

世ゝ人ゝの之ゝ鷹ゝ二ツ二ツ名て後ゝ小松汁り拉

一

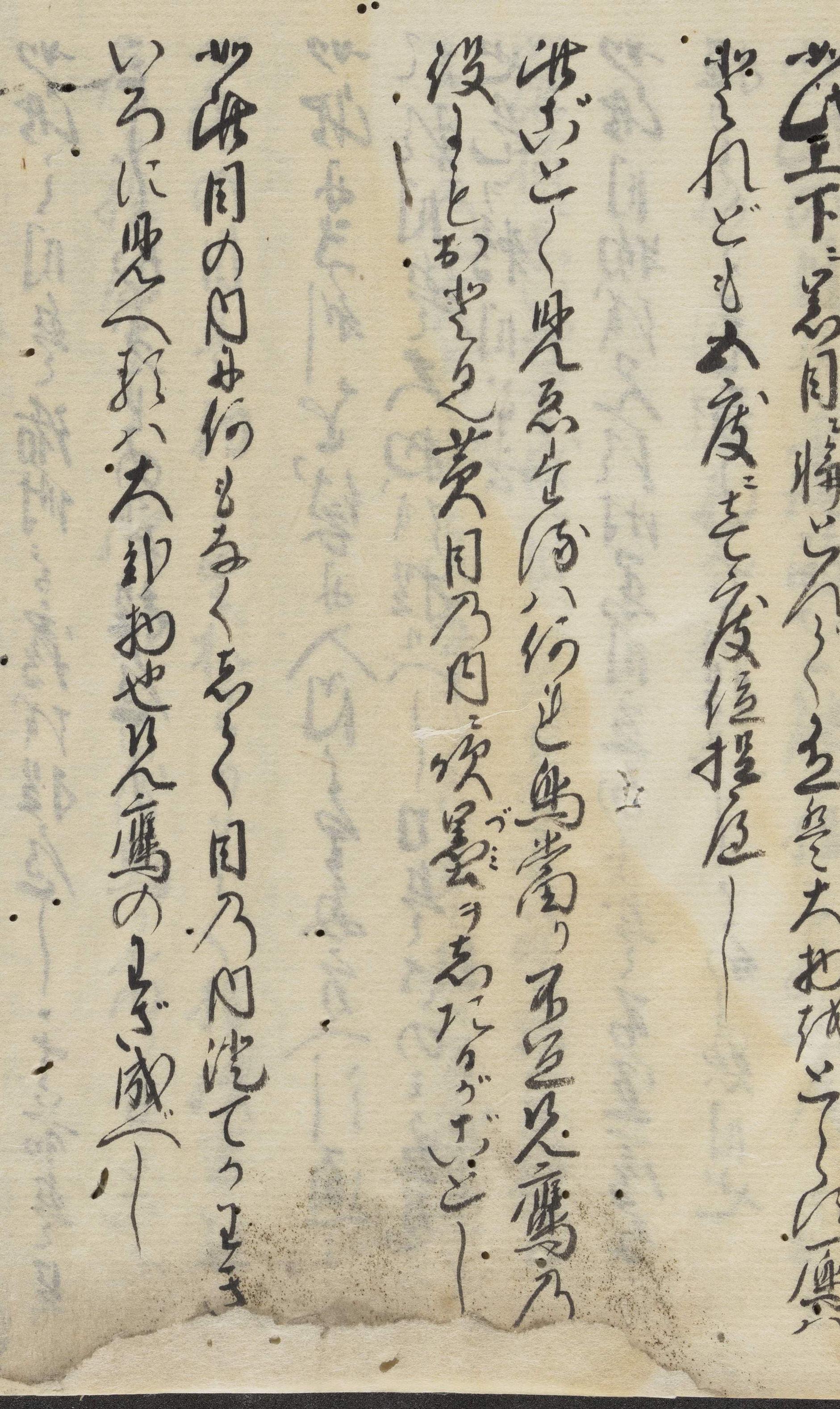
兼日ゝ利ゝ外ゝ法ゝそのぞ有名ゝ吉鷹

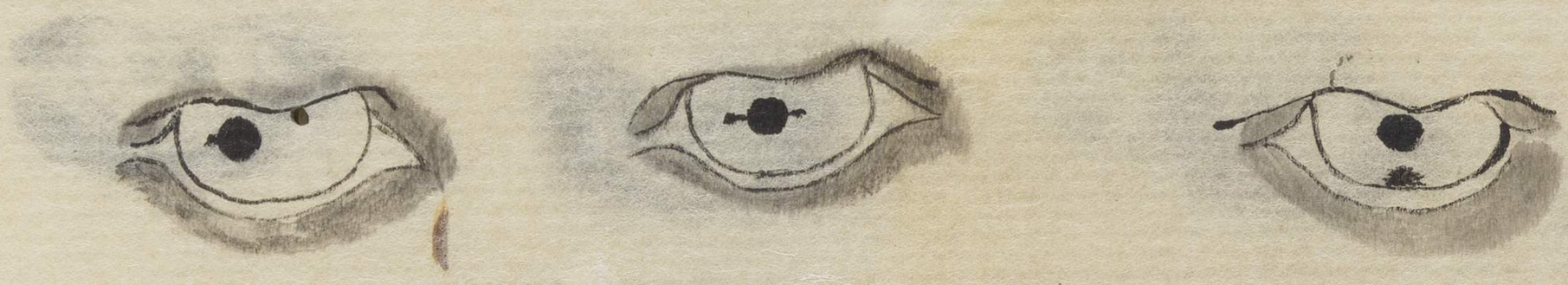
災害ゝ没ゝ後ゝ結州ゝ州ゝ大松拉

鷹ゝ行州ゝ八

鷹ゝ仙

一

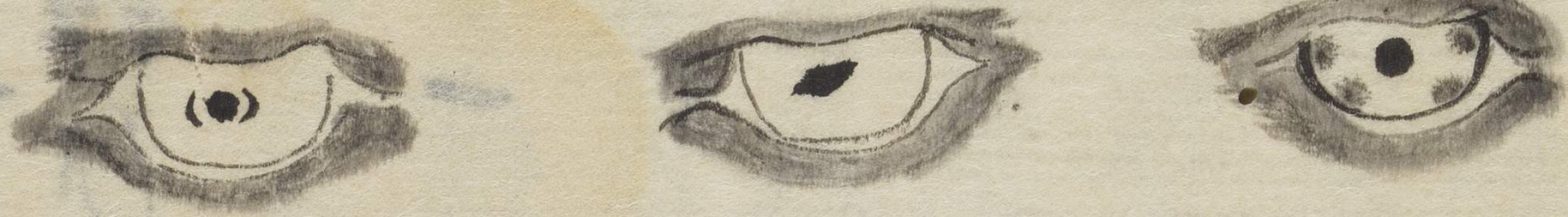




如此用意を備へ
こゝにかまえよの
ごとく取扱ふべし

如此まで到りて
たゞ其用意を大切に取扱ふ
也是を精用と云

如此用物ハ又其時々
取りくるものとおもひて
ハ取ルべからず



其の目を露路を捕ふに急にして
ふこと能はず遂に命を利
せらるゝに至る

蛍横走して赤き血を流し目
ふこと能はず遂に命を利
せらるゝに至る

其の目を和らげ嘴を柔らかにし捕
ふるを待つ

其の目を和らげ嘴を柔らかにし捕
ふるを待つ

右土之同歌十二韻之内書記並木字之
前後相續而用之中間補亥也

前書高有之十二同歌秘事口傳
内七ツ〻同歌秘事口傳

如此有る同の前後の書いかた
後同ノ内ニ有るうるを通而也

如此の同通而也同の内ヨり出たる
毒のあとく先ルなり有り支ハ輸毒ニ
如此同の同井上ヨり生おれか通而
よてく抱ことおそれ多き故

右七ツ之間歌七首大意之事

一首

雲のおとて掛利雲りそめ

後情れ風うみ成れバ右記

雨ふらさた事也

一首

海川の内の沖辺りのそ

雨成れ雨無前兆

雨ふらさた事也

一首

雨降ハ大抵ハ雨成ル

雨ふらさた事也

一首

雨降ハ雨成ル雨無前兆

雨ふらさた事也

一首

海川ハ内ハ雨成ル雨無前兆

雨ふらさた事也

一首

雨降ハ雨成ル雨無前兆

雨ふらさた事也

一首

雨降ハ雨成ル雨無前兆

雨ふらさた事也

一 雲と柳の下みち雁の事

一 鞍馬の下みち雁の事

一 春冬を桜と雁の事

一 三尺一寸位の長さの縄の両端を結合せ
帝木ノ下ニ八ツ結ひ目を作り
縄ヲ十文字ニ引くなり
上ノ方ニ来ル木ヲ下ニ結ひ目を作り
架の両いわくらを結ひ架ともう
架の両いわくらを結ひ架ともう
毛架の下ニ来ル木ヲ下ニ結ひ目を作り
立寸長ヲ引ニ入也是ニ入ル
をし架ニ寸宛出る也架乃も
貫八百ヲ目ニ入ル也架ニ
架布の表ニ又ニ本ニ
木ツの也立乃級ヲ付ケ
一 細ニ乃好ニ
ふまゝ
描布よ
下布ハ

一 玉雪氏七ツ緒ヲ繋ケ大刀ヲ佩ク

一 傳統社ノ時雪緒ヲ繋ケ太刀ヲ佩ク

一 二ノ手ハ蝶ノ巣ヲ納ク

一 玉雪ノ大緒ノ長サ六尺ニシテ

一 大鷹ノ巣ノ大サ方三尺ニシテ

一 大鷹ノ巣ノ中ニ小鷹ノ巣アリ

一 玉雪氏七ツ緒ヲ繋ケ大刀ヲ佩ク

一 傳統社ノ時雪緒ヲ繋ケ太刀ヲ佩ク

一 二ノ手ハ蝶ノ巣ヲ納ク

一 玉雪ノ大緒ノ長サ六尺ニシテ

一 大鷹ノ巣ノ大サ方三尺ニシテ

一 大鷹ノ巣ノ中ニ小鷹ノ巣アリ

一大鷹の名前七寸程のもの
一鈴のこと
一紐緒共長サ二尺八寸程
一河縄共長サ二尺程
一大鷹の餌七色程
一寸延一尺程
一餌のかた一ツ
一鈴一ツ
一紐緒共長サ二尺八寸程

一 脾木形板大鷹ハ長サ弐尺八寸
板之如つさ也
一 小鷹ハ長サ九寸廣サ七寸
脾合子
一 大緒ハ板ニ通ス大鷹ハ長サ廣サ九寸
鶚ハ日前ニ及ス
一 大鷹の指架ハ横木長サ
也（サ）横木と同様也さやの木ハ
如つさ大サ
下みして記ス

一 板ニ接のそ八寸架くるみ小ニ
一 小鷹ハ長サ七寸八分但八合
一 横記ちがひ有形ニて中ニ一ツ

一

架金八尺ノ深ノ長サ六尺ニ
末ヲ八ニツ宛ニ和ニ付ベ
又鷹ノ名架、横ノ長サ六
六寸廣サ八寸ニ中ノ木ノ右八細ク
尺ニ布ヲ水色ニ染テ宛尾ニ
ス布ヲ水色ニ染テ宛尾ニ
ハ右ニ同ジ付尾ニ

一

鶚ノ指架ハ横木六尺ニ
八寸横ノ木ニ長サ三寸ニ
ニ付ベシ中ノ木ハ細ク
ス尾ニ付ベシ

一

鷲ノ指架ハ横木六尺ニ
八寸横ノ木ニ長サ三寸ニ
ニ付ベシ中ノ木ハ細ク
ス尾ニ付ベシ

一

鷹

一 鷹の水吸ふ事を好みて
た〻ず 夜も屢〻(しばしば)
一 雑子(のすり)鶏に木草の付(つき)たる
水の投(なげ)かけを
もとめ 又 鷹嶋(たかしま)の萩(はぎ)を
一 叢(むら)雲(くも)と云(いふ)名(な)を
中一郎(なかいちらう)先(まづ)
用(もち)ゐ 次(つぎ)に 鷹(たか)
中二郎(なかじらう)先(まづ)
用(もち)ゐ 次(つぎ)に 鷹(たか)
中三郎(なかさぶらう)先(まづ)
用(もち)ゐ 次(つぎ)に 鷹(たか)
如(ごと)し 中六(なかろく)

一 鷹の水吸ふ事を好みて
た〻ず 夜も屢〻(しばしば)
一 雑子鶏に木草の付たる
水の投かけを
もとめ 又 鷹嶋の萩を
一 叢雲と云名を
中一郎先
用ゐ 次に 鷹
中二郎先
用ゐ 次に 鷹
中三郎先
用ゐ 次に 鷹
如し 中六

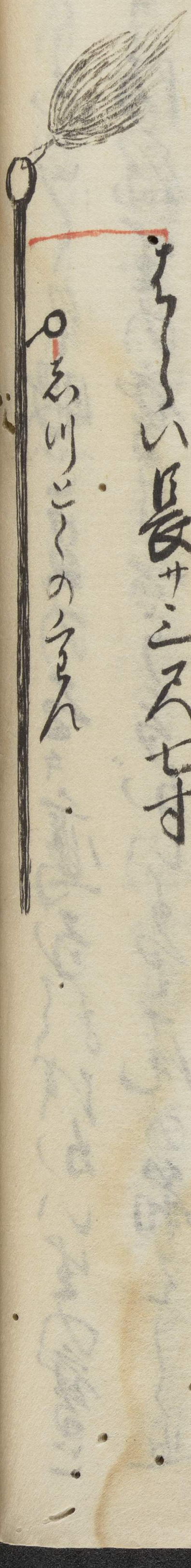
一 鷹の水吸ふ事を好みて
た〻ず 夜も屢〻(しばしば)
一 雑子鶏に木草の付たる事(こと)
水の投かけを
もとめ 又 鷹嶋の萩を
一 叢雲と云名を
中一郎先
用ゐ 次に 鷹
中二郎先
用ゐ 次に 鷹
中三郎先
用ゐ 次に 鷹
如し 中六

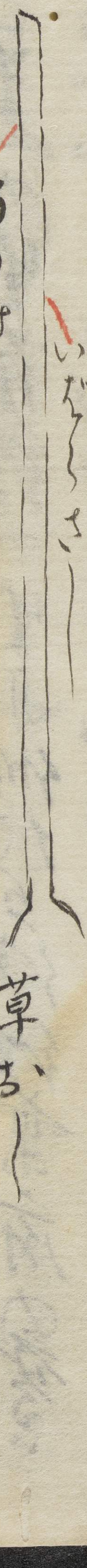
一 鷹の水吸ふ事を好みて
た〻ず 夜も屢〻(しばしば)
一 雑子鶏に木草の付たる事(こと)
水の投かけを
もとめ 又 鷹嶋の萩を
一 叢雲と云名を
中一郎先
用ゐ 次に 鷹
中二郎先
用ゐ 次に 鷹
中三郎先
用ゐ 次に 鷹
如し 中六

並かたに白うら白屋毛前の如
右同前利米八ツ宛ともに
大ぐま也前参ろ参石ばら
なまいハ右同断ニ而ふと
桃紀應ず候事實ちいさく細つまり
三尾ゟ前ともさこ紀白しろ
よろしく上ヨの稀ニ赤ぶち
少し赤ぶち有之候ともに
右同断ニ而二井ニ而
赤ぶち上ニ赤ぶち
赤ぶち上ニ赤ぶち
赤ぶち上ニ赤ぶち

毛ふさふさなく尾前ハ八文字ニ
て尾毛白くまばらに上ニ立ち紅の上ニ黒き毛交り
脇ニ垂れ下りたる毛もいろ〳〵
ニ生分利の事
一悪尾の事
悪尾ハ尾ニ力なく下ニ垂るゝ事悪敷尾ニ
非ず尾ニ力なきを云ふ
一屋形尾の事
屋形尾ハ尾ニ生のなき様ニ見ゆる尾ニ
して尾ニ力有り
一分利 但前ニ生なき尾ニ
ても有り
一尾の重ニ云ふ事
尾の重ニ云ふハ尾ニ力有て垂ざる
ニ非ず尾ニ力有て垂るゝ
ニ非ず
一尾の重ニ云ふ事
尾の重ニ云ふハ深山白と云ふ
ニ非ず

一



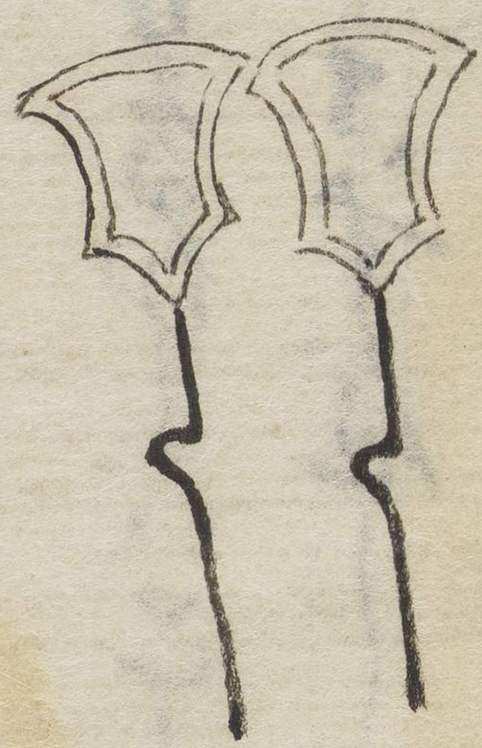


草村

草村

一 波ぶ里ノ名草ト名ヲ
くれなゐ ハい色ノ名ニ白ヲ
一 山大緒ヲ長ク房錦ヤウニ ハバ
一 隼のさい 梱(ゐ)長サ
毛ヲ
一 解ク事

元神ヲ七サ二尺八寸
毛ハ馬ノ如ク通ル也



ヲ
ソ
ヲ
ヲ
ヲ

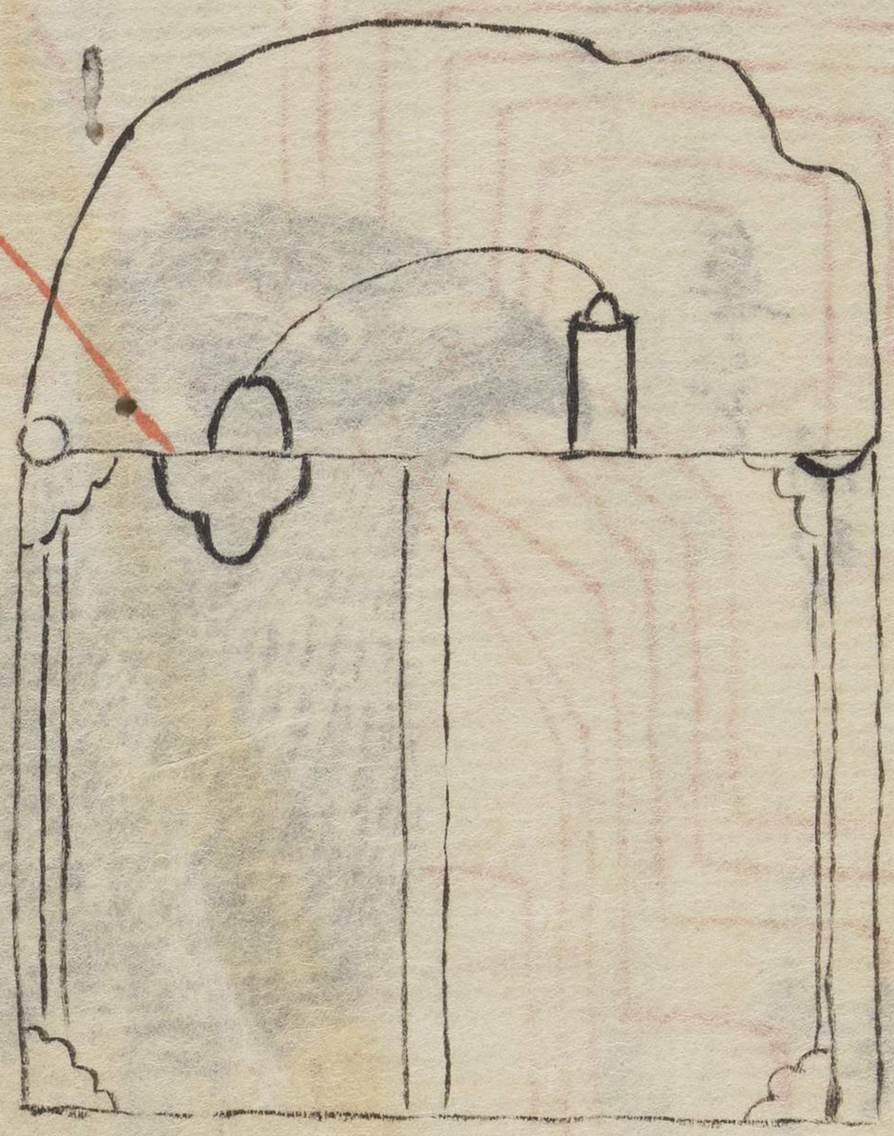
一 脚袋は多く次男多く
以下の如くつくらるゝ
うらの方に おしさすなわち
水縄七寸五分三重利口傳

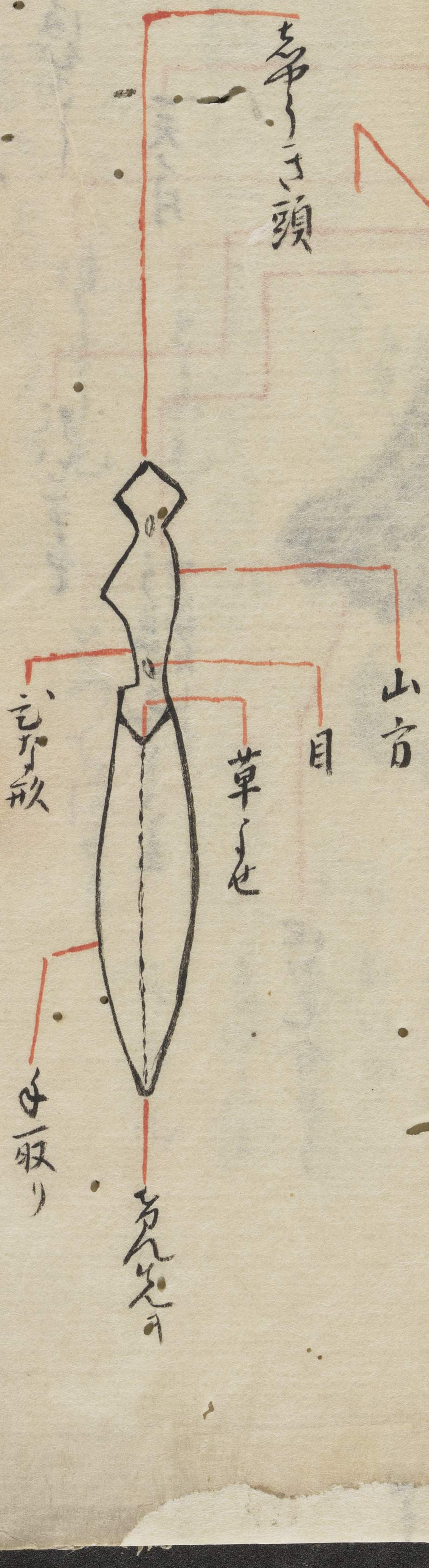
一

一 脚袋は多く次男多く
以下の如くつくらるゝ毛ばの右の方へ おし
うらの方に おしさすなわち
水縄七寸五分三重利口傳

一

茶湯箇条之事





一

頭ざし
一天ノ月
耳
うぶ毛とさとを
切添とも
ロツ毛合さ
胴特
白たい
食入
うけがい
鼻
筈先
菊毛
嘴
筈
筈ぐり
なるり
鼻こそ
吉日筈
らんぐ
なるり
筈つ

こしげ
さ衣
毛なしそで
かう爪
はまうこと
たれ毛しさ
くるぶり
とうもろこし
ちいが
ゑなこ
ふくらぎこと
うち爪
そうてはぎり
ことの毛
ぬり毛

一 記ちら弐一 たゞ折用の方七枚ら一 小松原一 両次一 面ゝなゝ三一 記ちら弐一 おとゝひ一 差ちら弐一 杉用一次

一 差箱大伴尾鷹尾紀平八枚有

大緒也

一 天笠ゟ重鷹岡箱渡利尾紀

一 房州小ざとうの黒焼 参匁入用

一 白菊のこぶの葉 弐枚

一 百病の葉黒焼 参匁入用

一 なつ菊の葉 弐枚

菜の方

竹ふくろ

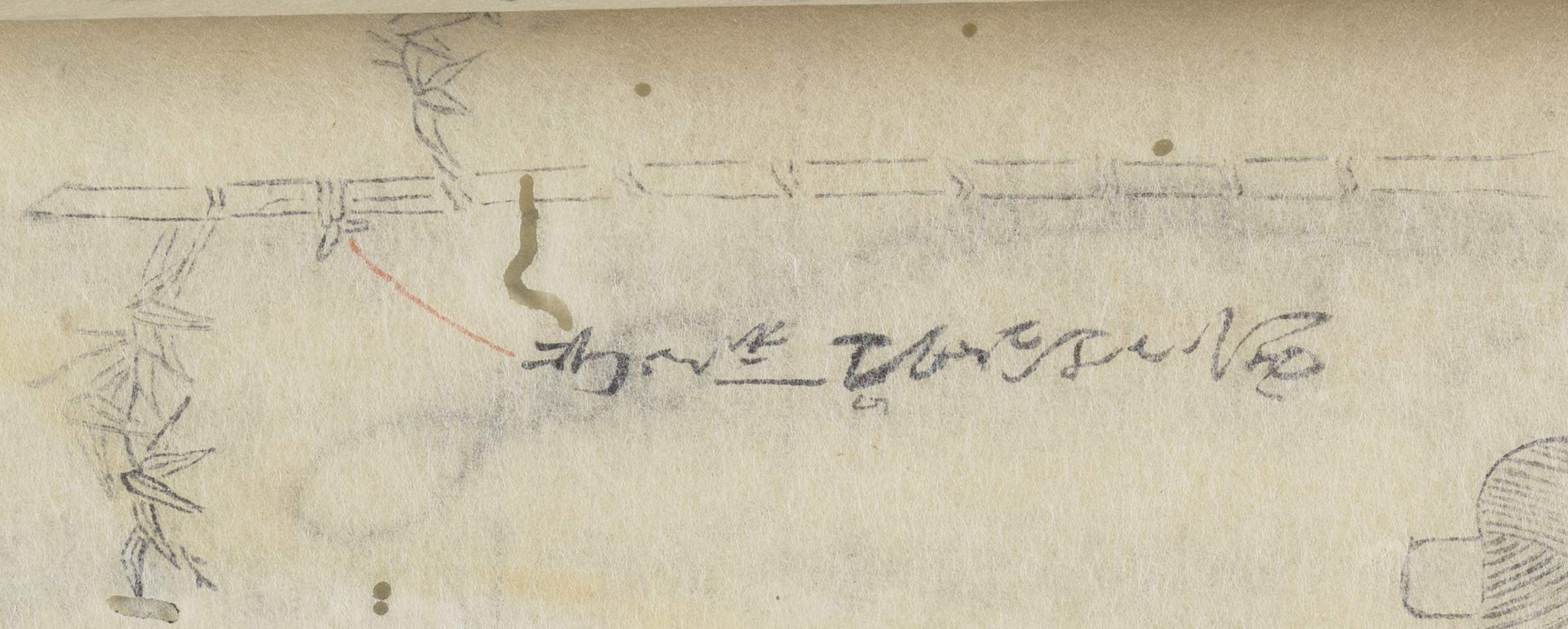
一 腫物遠 元ごぼうの黒焼 参匁入用

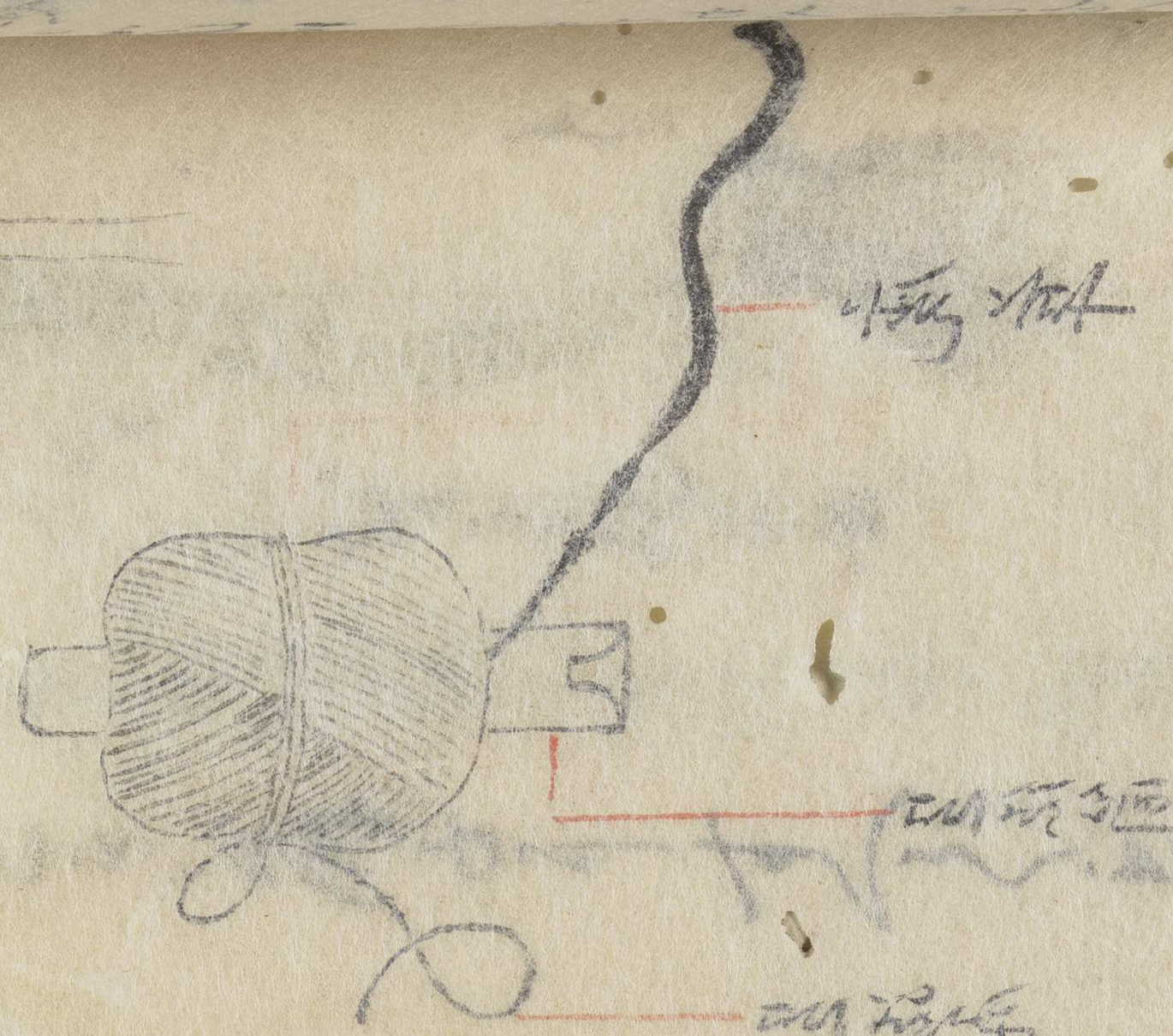
一 腫物 ごぼうの葉 弐枚

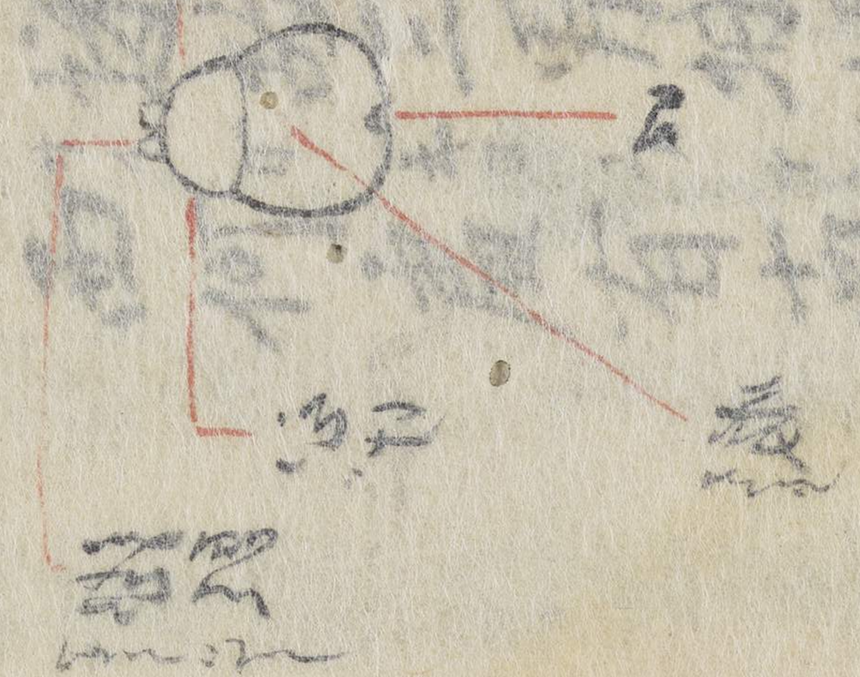
一 なつ菊の葉 弐枚

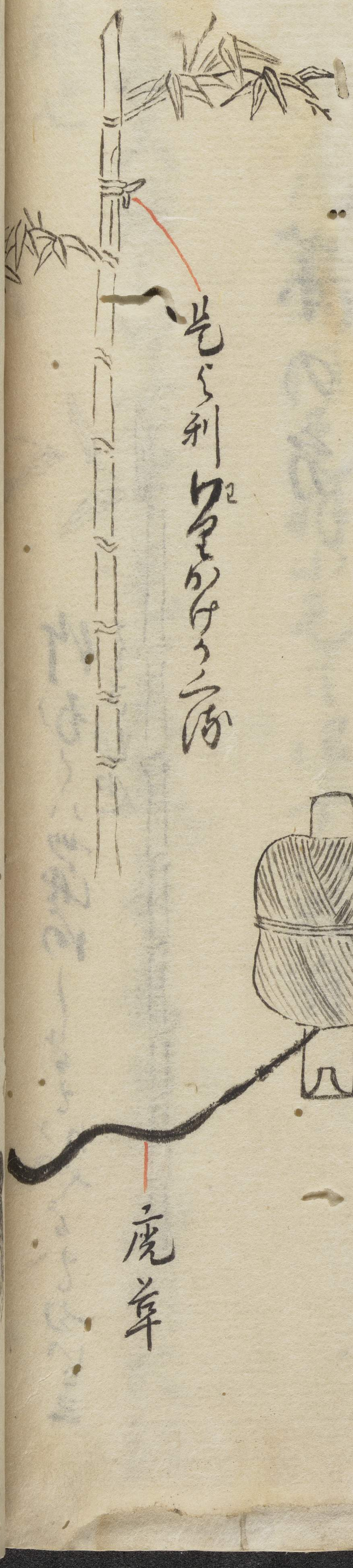
一 百病の葉黒焼 参匁入用

一 菊の葉 弐枚








竹ノ列ノ空カケ
虎羊
笹筒
笹葉
くゝとか紙とじ
目ごて云
ハケ
ヘラ
ヘラ
こげ
ヘラ
ヘラ

一

夫天地萬物ヲ始メ玄妙ヲ極メ
如来ノ奥旨ヲ悟ル故ニ
迷故三界城悟故十方空
本来ト無東
西何盧有南北

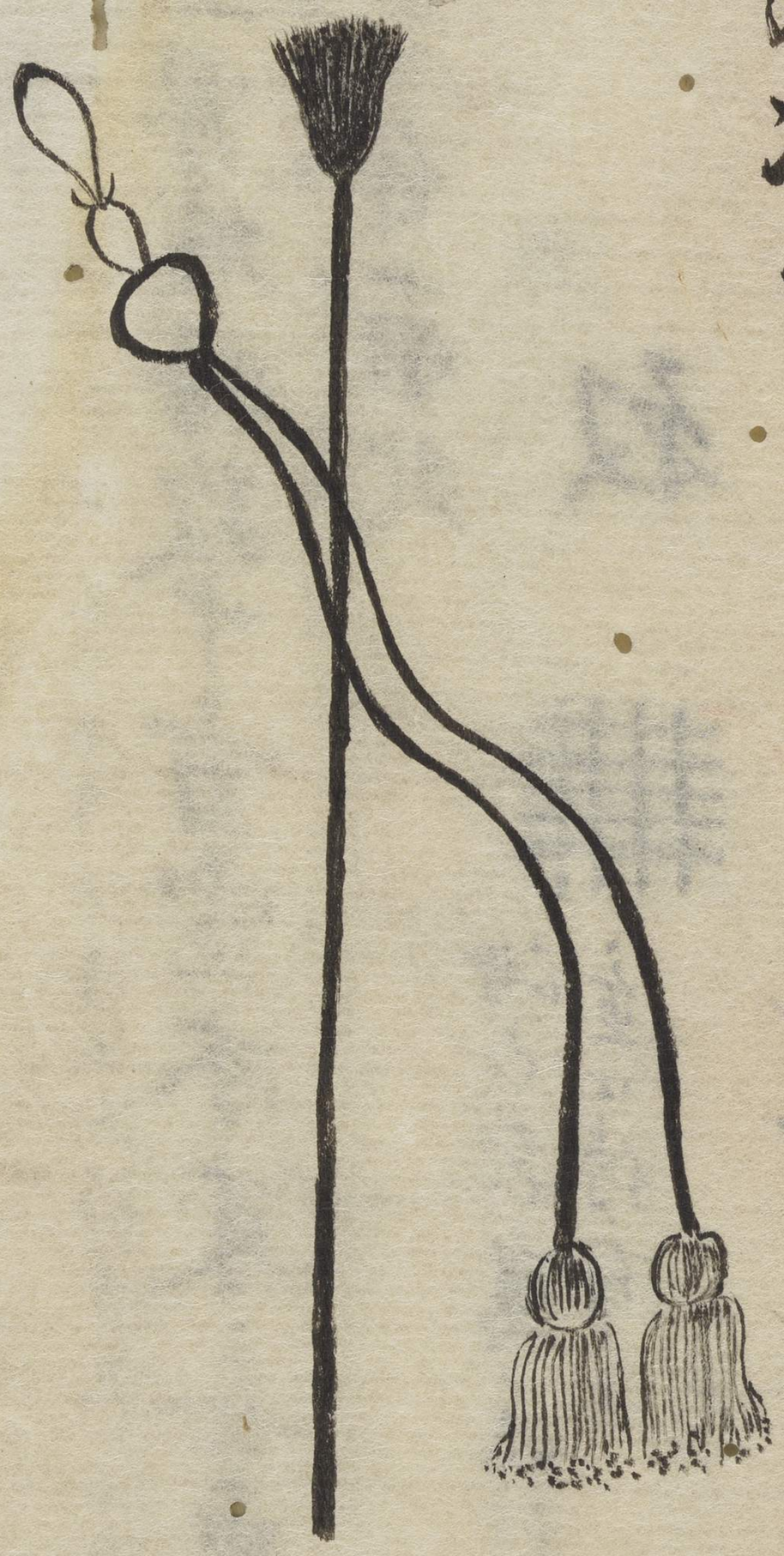
敢

無盡藏陀羅尼

むさく兜云

メイゴサトロイニヤウゴゴ　シツホウクウホシライムトウ
サイゴギョウウナレボク

一鷹ありその次第



一ツ体より上を長く書候字

かくの一ツの上を筆を二字の上に

又ハ三字程あまり長く書候

一 お汁を入れ支有り

一 腫物うち出し膿持ち出の時の薬

一 是等の薬松のヤニ黒焼にして

一 ろくろ付ケ也

一 羽瘡も右に同じ

一 包疱瘡も右に同じ

一 ホとぎ利草の支煎汁

一 骨継の薬軽粉（ケイフン）ニ差の粉陽梅

小ろくろ付ケ出ス也

一 ろくろ付ケ也

一 羽瘡も右に同じ

一 包疱瘡も右に同じ

一 ホとぎ利草の支煎汁

一 骨継の薬軽粉ニ差の粉陽梅

小ろくろ付ケ出ス也

一 ちばげつき 葉然(くなり)の留(イ)丁子 粉ヲ押(おし)毛(け)ノ如ク吉

一 上ニ又然(くなり)ノ留(イ)丁子 粉ヲ押(おし)テ付ケ丁子ノ如ク吉

一 豆瘡ノ葉 枝ノ屑ヲ軽粉 粉ヲ押(おし)毛(け)ニテ付ケ吉

一 きくこたち 葉ノ如キ葉ノ耳ヨリ 絞リ汁ヲ付ケ吉

一 毛ヲ如キ 葉ノ耳ヨリ 絞リ汁ヲ付ケ吉

一 日ヲすり利(きり)ノ 時ノ葉 雑(ぞう)ノ如キ 葉ノ耳ヨリ 絞リ汁ヲ付ケ吉

一 風ガ 入ノ 葉ノ如キ 葉ノ耳ヨリ 絞リ汁ヲ付ケ吉

一 ぜんまい 葉ノ如キ 葉ノ耳ヨリ 絞リ汁ヲ付ケ吉

一 ぜんまい 根(ね)ノ如キ 葉ノ耳ヨリ 絞リ汁ヲ付ケ吉

一 日八谷川八方ト云事ヲ 聞合(きゝあわ)セ 細(こま)ク小場(こば)ニ 抹(わか)チ出(いだ)ス 也(なり)サ三ノ弱ヲ 取(とり)テ 聞合(きゝあわ)セ 毛(け)ノ多キ 者(もの)ハ 給(たま)ヒ小ブ

一 三寸餘の中鯉を池の端より追込み候に
一 池の端より追込み候に付其時の
一 勝負細工池の中央に
一 勝負細工池の中央に
一 勝負細工池の中央に

如何なれバ答ハ多くハ出ス所ノ
ミニシテ別ニ答事ニテハアラザレ
ドモ其答ノ多クハ時ニ取リ新ニ
カヽル物ニシテ常ニ用ヒザルモノ
ナレバ前ニ馬ノ字ヲ用ヒタル
カ如シ又迎ニ答ズ一ニ多カラズ
ト云ヒ出ス答ハ其答ヘ
ノ如ク也又ハ答ノ字ヲ
加ヘテ答ヘ